



2023 年度

教育と研究に関する年次報告書

神戸大学大学院理学研究科・理学部

2024 年 7 月

目 次

はじめに	1
I. 組織と運営	3
I-1 組織と運営	3
I-1-1 理学研究科の構成	3
I-1-2 教員の配置	4
I-1-3 各種の委員会	5
II. 教育活動	10
II-1 入学試験	10
II-1-1 学部入学試験	10
II-1-2 大学院博士課程前期課程入学試験	13
II-1-3 大学院博士課程後期課程入学試験	15
II-2 授業の実施状況	16
II-3 授業改善の取り組み	18
II-3-1 学生による授業評価	18
II-3-2 授業参観（ピアレビュー）	20
II-4 学生生活の支援	21
II-5 就職の支援	23
II-5-1 理学研究科・理学部就職委員会主催の就職支援講座開催	23
II-5-2 その他の活動	24
II-5-3 「理学部学生支援室」	25
II-5-4 理学部同窓会との連携	25
II-6 卒業、修了及びその後の進路	26
II-6-1 学部卒業生・大学院前期課程修了生の進路	26
II-6-2 卒業、大学院博士前期課程修了、博士学位取得状況の年次推移	31
II-6-3 TA、RA の採用状況	41
II-6-4 PD、DC の採用状況	41
II-6-5 ディプロマ・ポリシー達成度アンケート	41
II-6-6 プログラム教育コースアンケート	46
II-6-7 OB・OG 合同会社説明会卒業生アンケート	46
II-7 留学生の受け入れ状況	49
III. 研究活動	51
III-1 研究資金の状況	51
III-2 外部資金獲得のための取り組み	60
IV 社会活動	61
IV-1 ホームページの作成と公開	61
IV-2 公開講座	62
IV-3 出前授業・模擬授業	63
IV-4 理学部オープンキャンパス	65

IV-5 神戸大学ホームカミングデー理学部企画	67
IV-6 その他の活動	68

図 表 目 次

図 I-1：理学研究科の教員構成の概要（2023 年度 5 月時点）（特命教員含む）	3
図 I-2：理学研究科の教員構成の概要（2023 年度 5 月時点）	3
表 I-1：理学系各領域における年度別教員数の推移（2021-2023 年度）	4
表 I-2：理学研究科事務職員配置の年度状況（2021-2023 年度）	4
表 I-3：教員の兼業状況（2021-2023 年度）	5
表 I-4：理学研究科内各種委員会委員名簿（2023 年度）	6
表 I-5：学内各種委員会理学研究科委員名簿（2023 年度）	8
表 II-1：2023 年度 学部入学試験状況一覧	10
表 II-2：2023 年度 学科別入学試験状況一覧	10
表 II-3：2023 年度 第 3 年次編入学試験概要	11
表 II-4：2023 年度 第 3 年次編入学者出身別分布	11
表 II-5：2023 年度 都道府県別入学志願者数	11
表 II-6：2023 年度 大学院博士課程前期課程入学試験概要	13
表 II-7：2023 年度 出身大学別大学院博士課程前期課程入学者一覧	13
表 II-8：2023 年度 大学院博士課程後期課程入学試験概要	15
表 II-9：2023 年度理学部実施授業科目数	16
表 II-10：2023 年度理学研究科実施授業科目数	16
表 II-11：2023 年度理学部遠隔授業・ハイブリット方式の授業科目	17
表 II-12：2023 年度理学研究科遠隔授業・ハイブリット方式の授業科目	18
表 II-13：授業振り返りアンケート集計結果（2023 年度）	19
表 II-14：教員相互による授業参観実施状況（2021-2023 年度）	20
表 II-15：学部学生の奨学金受給状況（2023 年度）	21
表 II-16：大学院前期課程学生の奨学金受給状況（2023 年度）	21
表 II-17：大学院後期課程学生の奨学金受給状況（2023 年度）	21
表 II-18：学部学生の授業料減免状況（2023 年度）	21
表 II-19：大学院前期課程学生の授業料減免状況（2023 年度）	22
表 II-20：大学院後期課程学生の授業料減免状況（2023 年度）	22
表 II-21：各種奨学金の受給状況（2023 年度）	22
表 II-22：大学院後期課程学生支援プロジェクトの実施状況	22
表 II-23：就職支援講座実施状況（2023 年度）	23
表 II-24：学部卒業生の進路（数学科）	26
表 II-25：学部卒業生の進路（物理学科）	26
表 II-26：学部卒業生の進路（化学科）	27

表 II-27 : 学部卒業生の進路（生物学科）	27
表 II-28 : 学部卒業生の進路（地球惑星科学科・惑星学科）	28
表 II-29 : 大学院前期課程修了生の進路（数学専攻）	28
表 II-30 : 大学院前期課程修了生の進路（物理学専攻）	28
表 II-31 : 大学院前期課程修了生の進路（化学専攻）	29
表 II-32 : 大学院前期課程修了生の進路（生物学専攻）	29
表 II-33 : 大学院前期課程修了生の進路（惑星学専攻）	30
表 II-34 : 理学部卒業生数の推移	31
表 II-35 : 数学科卒業生数の推移	32
表 II-36 : 物理学科卒業生数の推移	33
表 II-37 : 化学科卒業生数の推移	34
表 II-38 : 生物学科卒業生数の推移	35
表 II-39 : 惑星学科卒業生数の推移	36
表 II-40 : 理学研究科博士課程前期課程修了生数の推移	37
表 II-41 : 数学専攻博士課程前期課程修了生数の推移	37
表 II-42 : 物理学専攻博士課程前期課程修了生数の推移	38
表 II-43 : 化学専攻博士課程前期課程修了生数の推移	38
表 II-44 : 生物学専攻博士課程前期課程修了生数の推移	39
表 II-45 : 惑星学専攻博士課程前期課程修了生数の推移	39
表 II-46 : 理学研究科博士課程後期課程学位授与状況	40
表 II-47 : 博士学位取得者の進路（2023 年度）	40
表 II-48 : 論文博士学位取得者	40
表 II-49 : TA および RA の採用人数	41
表 II-50 : 学振 PD/RPD および DC の採用数（2023 年度）	41
表 II-51 : その他研究員等の採用（2023 年度）	41
表 II-52 : 理学部 2023 年度 学部卒業生 DP 達成度アンケート結果	45
表 II-53 : 理学研究科 2023 年度 大学院博士課程前期課程修了生 DP 達成度アンケート結果	45
表 II-54 : 理学研究科 2023 年度 大学院博士課程後期課程修了生 DP 達成度アンケート結果	45
表 II-55 : 理学研究科 2023 年度 環境・化学プログラム教育コースアンケート結果	46
表 II-56 : 2023 年度 理学系 OB・OG との交流会卒業生アンケート集計	47
表 II-57 : 学部留学生数（2023 年度）	49
表 II-58 : 大学院前期課程留学生数（2023 年度）	49
表 II-59 : 大学院後期課程留学生数（2023 年度）	50
表 III-1 : 2023 年度 科学研究費助成事業のまとめ	51
表 III-2 : 2023 年度 理学研究科奨学寄附金の受け入れのまとめ	52
表 III-3 : 2023 年度 理学研究科産学連携等研究費のまとめ	52
表 III-4 : 数学専攻 2023 年度 科学研究費助成事業申請件数、採択件数及び採択金額	52
表 III-5 : 物理学専攻 2023 年度 科学研究費助成事業申請件数、採択件数及び採択金額	53
表 III-6 : 化学専攻 2023 年度 科学研究費助成事業申請件数、採択件数及び採択金額	53

表 III-7 : 生物学専攻 2023 年度 科学研究費助成事業申請件数、採択件数及び採択金額.....	54
表 III-8 : 惑星学専攻 2023 年度 科学研究費助成事業申請件数、採択件数及び採択金額.....	54
表 III-9 : 2023 年度 受託研究契約一覧	55
表 III-10 : 2023 年度 共同研究契約一覧	56
表 III-11 : 2023 年度 その他補助金等の受け入れ一覧.....	59
表 III-12 : 運営費交付金等予算の推移.....	60
表 IV-1 : 理学研究科・理学部のホームページ	61
表 IV-2 : 理学部サイエンスセミナーの開催状況	62
表 IV-3 : 理学部における模擬授業の実施状況概要（2023 年度）	65
表 IV-4 : 2023 年度理学部オープンキャンパス参加高校と参加者数.....	65

はじめに

令和5年度（2023年度）は、3年に渡ったコロナ禍の生活からやっと社会が抜け出した年となった。令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症はその対応が5類へと移行し、それに準じて大学での活動制限もほぼなくなった。この年次報告書は、我々理学部・理学研究科がポストコロナ禍の新しい環境下で、コロナ禍以前の大学生活を少しずつ取り戻して行った1年間の記録である。令和4年度の入学式は、新入生のみの出席で対面で挙行されたが、その年度の卒業式では、家族の参列も可能となり、令和5年度の入学式及び卒業式も学生は家族と共に喜びを分かち合うことができた。ただし、コロナ禍以前とは違い、感染症に気を遣いマスクを着用する参列者が多く見受けられた。一方、理学部・理学研究科の入学時ガイダンスは、昨年と同様に一学年全体で集合することを避けて学科毎の開催となった。理学が新入生ガイダンスに用いる部屋は十分に広いとは言い難く、ポストコロナ禍においても、一学生が一堂に会するガイダンスを実施することは控えることになりそうである。授業、部活動、サークル活動は、行動制限もなくなり、大学祭なども再開されキャンパス内には活気が戻ってきた。また、キャンパス内では海外からの留学生も徐々に戻ってきて、国際交流活動も再開してきた。我々の研究科でも、国際学会へ参加する教員・学生が、コロナ禍前の水準に戻りつつあったが、国際情勢のあおりを食って海外への渡航費が非常に高騰した結果、なかなかコロナ禍以前のレベルにまでは戻っていない。

理学研究科内では、昨年から徐々に授業以外のイベントや管理運営体制もコロナ禍前に戻していたが、今年はサイエンスセミナーも換気の良い農学部の大きな教室を借りて対面のみで開催した。昨年度から再開したホームカミングデーや理学系OB・OGとの交流会では、短時間ではあるが飲食を伴う懇親会も開催することができた。さらに、不特定多数が参加する夏のオープンキャンパスも参加者数を絞ってはいるが対面での開催にこぎ着けた。そして、3月の同窓会主催の卒業祝賀会も5年ぶりに対面で開催することができた。以上の様に令和5年度は、教育研究活動をはじめとして、ほぼすべての活動をコロナ禍以前に戻すことができた。ただし、現在でも新型コロナウイルス感染症の拡大は収まっている訳ではなく、その感染者数は増減を繰り返している。その意味では、大学の教育・研究活動が、完全にコロナ禍前に戻ることはなく、必要な時にはオンラインを活用したり、多人数で密集した環境を作らないなど、ポストコロナ禍の作法が作られた一年であった。

さて、令和4年度から第4期中期計画が始まった。神戸大学では各部局に重要業績評価指標（KPI）を設定し、その数値目標の達成度により部局の業績評価を行うことにしている。今年も昨年に続き令和5年度のKPIがほぼ出揃い1年間の理学部・理学研究科の活動が評価されている最中である。この年次報告書を見て頂ければ分かるように、昨年に引き続き、教育関係のKPIに関しては理学ではほぼ数値目標を達成している。また、研究費の獲得についても科研費及び共同研究・受託研究費は目標値を上回る、もしくは、ほぼ目標を達成している。昨年同様、教員の後任補充もままならない状況で達成したこの結果は、理学教員のポテンシャルの高

さを示している。一方、昨年に引き続き、WOS 論文数や国際共著論文数は、数値目標には及ばなかった。さらに、学生の海外渡航者数も目標値を下回った。このような傾向は大学全体を見渡すと他部局でも起こっているのも、いまだにコロナ禍の影響が尾を引いていると考えるのが妥当である。また、ヨーロッパや中東の国際紛争や急激な円高が国際共同研究や海外渡航にも影響を与えているとのことである。令和 5 年度も昨年同様、このように自らの責務に寄らない外部要因に翻弄された感がある。しかしながら、年次報告書からは、このような環境下でも各専攻が工夫を凝らして研究成果を挙げているのが見て取れる。

一方、このような外的要因だけでなく、理学部・理学研究科の活動を制限しているもっと重要な問題がある。それは、継続的な人員削減と運営費交付金の減少である。令和 4、5 年度の電気代の高騰は、理学研究科の教育研究活動を大きく制限しており、これを含めて人員削減・運営費交付金の減少は、理学の三重苦と言える。また、令和 5 年度には理学研究科を長らく支えてくれた多くの教員が定年退職し、教育・研究力の一時的な低下が懸念されている。その代わりに徐々にではあるが新しい教員を迎えることもできるようになり、理学教員の世代の若返りも進むと思われる。博士課程後期課程の定員充足率に問題があることが、令和 3 年度実施大学機関別認証評価で指摘され、現在、理学一丸となってその対策を講じているが、教員の新陳代謝が進めばその問題も徐々に解決するのではないかと期待している。

このような環境下でも、学生の教育・研究は従前通り行われており、今年も多くの卒業生・修了生を世に送り出すことができた。我々理学部・理学研究科は、どのような環境変化が起ころうとも、学生教育と研究だけは高い質を維持したいと考えている。このような理学部・理学研究科に、今後とも叱咤激励と伴にご支援を頂くことをステークホルダーの皆様にお願ひするものである。

最後に、年次報告を作成するにあたりご苦勞された自己評価委員、専攻担当事務職員に敬意を表し、拙文を閉じることとする。

2024 年 7 月 理学部長・理学研究科長 荒川 政彦

I. 組織と運営

I-1 組織と運営

I-1-1 理学研究科の構成

神戸大学「大学院理学研究科」の教員構成を図 I-1 に示す。理学研究科は、自然科学研究科及び関係 4 学部の改組により 2007 年 4 月に発足した博士課程前期課程及び後期課程を擁する大学院教育研究組織である。理学研究科を担当する教員は、理学研究科を本務とする者と、下記の関連センター及び先端融合研究環を本務とし理学研究科を兼務する者から構成される。理学研究科の教員は同時に理学部を兼務し、学部教育及び全学共通教育も担当している。

図 1：理学研究科の教員構成の概要（2023 年度 5 月時点）（特命教員含む）

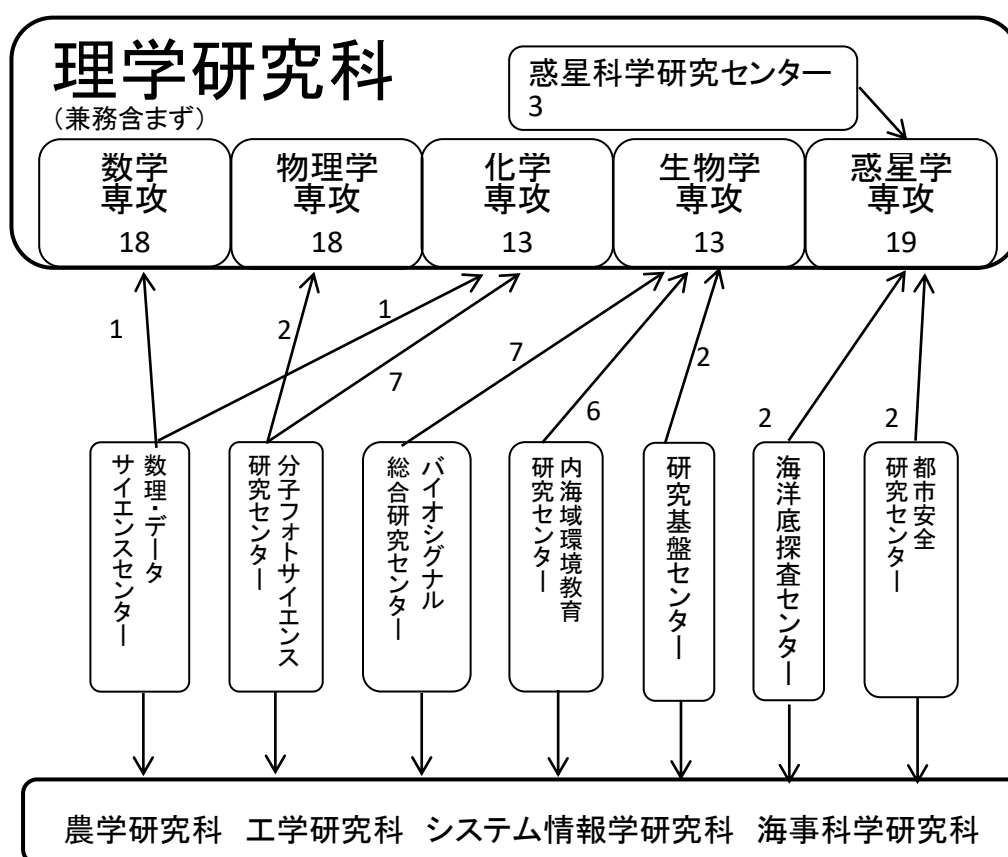
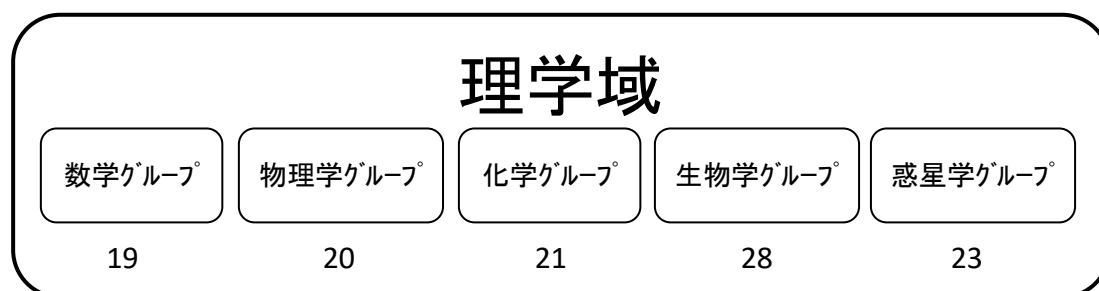


図 I-2：理学研究科の教員構成の概要（2023 年度 5 月時点）



2015 年 10 月 1 日に「海洋底探査センター」が設置された。2016 年 4 月 1 日に「バイオシグナル研究センター」と「遺伝子実験センター」は統合して「バイオシグナル総合研究センター」となった。2017 年 12 月 1 日に「数理・データサイエンスセンター」が設置された。

I-1-2 教員の配置

表 I-1 に理学系教員の年度別配置状況を、また表 I-2 に理学研究科の事務職員の配置状況を示す。更に、表 I-3 に理学系教員の兼務等の状況を示す。(各年度の 5 月 1 日時点の配置数を示す)

表 I-1：理学系各領域における年度別教員数の推移（2021-2023 年度）

	2021年度						2022年度						2023年度					
	P	AP	L	A	RA	計	P	AP	L	A	RA	計	P	AP	L	A	RA	計
数学領域																		
数学科/数学専攻	11	1		6		18	11	3		3		17	12	3		3		18
数理・データサイエンスセンター	1					1	1					1	1					1
小計	12	1	0	6	0	19	12	3	0	3	0	18	13	3	0	3	0	19
物理学領域																		
物理学科/物理学専攻	7	9	1	3		20	8	10	1	2		21	7	8	1	2		18
分子フォトサイエンス研究センター	1	1			1	3	1	1				2	1	1				2
先端融合研究環	1					1						0						0
小計	9	10	1	3	1	24	9	11	1	2	0	23	8	9	1	2	0	20
化学領域																		
化学科/化学専攻	5	8	1			14	5	8				13	5	8				13
分子フォトサイエンス研究センター	2	2			1	5	3	1			2	6	3	1			3	7
数理・データサイエンスセンター	1					1	1					1	1					1
小計	8	10	1	0	1	20	9	9	0	0	2	20	9	9	0	0	3	21
生物学領域																		
生物学科/生物学専攻	4	7		3		14	5	7		2		14	6	6		1		13
バイオシグナル研究センター	2	2		2		6	2	2		2	1	7	2	2		2	1	7
内海環境教育研究センター	3		1	2		6	3		1	1		5	3		1	2		6
研究基盤センター	1			1		2	1			1		2	1			1		2
小計	10	9	1	8	0	28	11	9	1	6	1	28	12	8	1	6	1	28
惑星学領域																		
惑星学科/惑星学専攻	7	3	4	3		17	7	3	3	3	1	17	7	3	4	5		19
都市安全研究センター	1	1			1	3	1	1				2	1	1				2
海洋底探査センター	1		1	1		3	1		1	1		3	1					1
惑星科学研究センター		1		1		2		1		3		4	1			2		3
小計	9	5	5	5	1	25	9	5	4	7	1	26	10	4	4	7	0	25
合計	48	35	8	22	3	116	50	37	6	18	4	115	52	33	6	18	4	113

略語 P:教授 AP:准教授 L:講師 A:助教 RA:助手

表 I-2：理学研究科事務職員配置の年度状況（2021-2023 年度）

年 度	事務課長	係長	主任	係員	準事務員	技術職員	事務補佐員	再雇用職員	計
2021	1	3	1	7	0	3	15	1	31
2022	1	3	3	4	0	3	15	1	30
2023	1	3	4	4	0	3	13	0	28

2021 年度係員に育休代替職員 3 名含む。

2022 年度係員に育休代替職員 2 名含む。

2023 年度事務課長に再雇用職員 1 名含む。

表 I-3 : 教員の兼業状況 (2021-2023 年度)

年 度	非常勤講師	委員会等委員	常勤併任	その他	備考
2021	11	76	0	76	
2022	15	91	0	77	
2023	8	88	0	96	

I-1-3 各種の委員会

理学研究科の教育研究活動を推進して行くに当たり、出来るさまざまな問題を解決するために、各種の委員会を設置して対応している。表 I-4 に理学研究科内に設置した各種委員会の構成を、また表 I-5 に全学の委員会および部局にまたがる各種の委員会の構成を示す。理学研究科内に設置した委員会については、その構成や機能について随時見直しを行っている。

表 I-4：理学研究科内各種委員会委員名簿（2023 年度）

2023 年 5 月 1 日現在

	委員会等名	数学	物理学	化学	生物学	惑星学	任期		備考 *印は委員長	特記
常置委員会	副研究科長(評議員)		竹内				2022. 4. 1～2024. 3.31	2年		
	副研究科長	高岡					2022. 4. 1～2024. 3.31	2年	研究科長任期満了まで	
	専攻長	太田(泰)	早田	内野	青沼	大槻	2023. 4. 1～2024. 3.31	1年	教授会審議	
	副専攻長	佐治	山崎(祐)	和田	深城	牧野	2023. 4. 1～2024. 3.31	1年		
	教務委員長				石崎		2023. 4. 1～2024. 3.31	1年	学科編成順(教務委員経験者)	教授
	教務委員会 (正)	佐野	大久保	田村	近藤	金子	2023. 4. 1～2024. 3.31	1年	(副)は、次期(正)となる	
	(副)	佐藤	身内	木村(建)	辻	廣瀬	2023. 4. 1～2024. 3.31	1年		
	広報委員会委員長	谷口					2022. 4. 1～2024. 3.31	2年	学科逆編成順	
	広報委員会	森本	大道	秋本	大沼	山本	2022. 4. 1～2024. 3.31	2年	HP担当(白井技術職員)	
	ネットワーク運営委員会委員長	高山					任期なし		(副 事務課長)	
	ネットワーク管理責任者		竹内				2023. 4. 1～2024. 3.31	1年	学科編成順 委員長が交代になるまで数学は除外	
	ネットワーク運営委員会	高山	竹内	木村(哲)	佐倉	清杉	2023. 4. 1～2024. 3.31	1年		
	理学研究科自己評価委員会委員長	佐治					2023. 4. 1～2025. 3.31	2年	学科編成順	
	理学研究科自己評価委員会	佐治	山崎(祐)	大西	石崎	島	2023. 4. 1～2025. 3.31	2年	研究科長, 副研究科長(高岡)	教授
	理学部自己評価委員会委員長	佐治					2023. 4. 1～2025. 3.31	2年	学科編成順	
	理学部自己評価委員会	佐治	山崎(祐)	大西	石崎	島	2023. 4. 1～2025. 3.31	2年	研究科長, 副研究科長(高岡)	教授
	入学試験委員会委員長	福山					2023. 4. 1～2024. 3.31	1年	学科編成順	
	入学試験委員会 (正)	森本	久保木	茶谷	奥田	吉岡(祥)	2023. 4. 1～2024. 3.31	1年		
	(副)	佐治	松岡	木村(哲)	塚本	斎藤	2023. 4. 1～2024. 3.31	1年		
	就職委員会委員長					牧野	2022. 10. 1～2023.9.30	1年	学科逆編成順	
	就職委員会	山田	西野	林(昌)	影山	牧野	2022. 10. 1～2023.9.30	1年	副研究科長(竹内)	
	日本学生支援機構学資金返還免除申請者選考委員会	太田(泰)	西野	和田	鎌田	廣瀬	2021. 10. 1～2023.9.30	2年	(非公開) *横井 雅幸 (学生委員)	
	博士課程後期課程早期修了審査委員会	青木	山崎(祐)	大西	井上	杉岡	2023. 4. 1～2025. 3.31	2年	(非公開)	
	惑星科学研究センター運営委員会	青木					2023. 4. 1～2024. 3.31	1年	学科逆編成順	
	外部資金アドバイザーボード	高山	身内	木村(建)	菅澤	牧野	2023. 4. 1～2025. 3.31	2年	* 研究科長, 副研究科長	
	学舎整備委員会	専攻長が兼務							研究科長, 副研究科長(* 竹内)	
	教員資格審査委員会	専攻長が兼務							* 研究科長, 副研究科長	
	機種選定委員会	専攻長が兼務								
	安全委員会	専攻長が兼務								
	国際交流委員会	専攻長が兼務							研究科長, 副研究科長(* 高岡)	
	研究倫理審査委員会	専攻長が兼務							* 研究科長, 副研究科長	
	共用スペース運用委員会	専攻長が兼務							研究科長, 副研究科長(* 竹内)	
	安全衛生会議	高山	小手川	松原	上井	保井	任期なし		* 研究科長, 副研究科長(高岡)その他	
	「安全の手引」編集委員会委員	森本	松岡	木村(建)	松花	保井	任期なし		* 副研究科長(高岡) 協力委員: 理学研究科ネットワーク運営委員会委員長 高山信毅 研究基盤センター・アイソトープ部門 宮本昌明	
	計量管理責任者						2023. 4. 1～2024. 3.31		研究科長が指名する副研究科長(竹内)	
	金工室主任			笠原					(副)	
	金工室運用会議		大久保	笠原						
	神戸大学120年史部局史委員会委員長	福山					2022.11.16～2024.3.31		終期は全学委員の任期	
	神戸大学120年史部局史委員会	佐治	菅原	持田	井上	中村	2022.11.16～2027.3.31			
	理学域デュアトラック委員会				井上		2022. 4. 1～2024. 3.31		その他委員長が必要と認める者	学域

内海域環境教育センター

役職名	氏 名	任 期	運営委員会委員(※は任期なし)
センター長	上 井 進也	2022.4.1～2024.3.31	丑丸敦史教授(発)青沼仁志教授(理) 蔵岡孝治教授(海) ※上井進也教授 ※岡村秀雄教授 ※奥田昇教授 ※三村治夫教授
副センター長	岡村 秀雄	2022.4.1～2024.3.31	

分子フォトサイエンス研究センター

役職名	氏 名	任 期	運営委員会委員(※は任期なし)
センター長	富永 圭介	2023.4.1～2025.3.31	佐藤春実教授(発)和田昭英教授(理) 南秀人教授教授(工) ※富永圭介教授 ※太田仁教授 ※小堀康博教授 ※立川貴士教授
副センター長	立川 貴士	2023.4.1～2025.3.31	

海洋底探査センター

役職名	氏 名	任 期	運営委員会委員(※は任期なし)
センター長	杉岡 裕子	2022.4.1～2024.3.31	吉岡祥一教授(理)横小路泰義教授(工) 平山勝敏教授(海) ※島伸和教授 ※淵真輝准教授 ※金子克哉教授 ※石橋純一郎教授 ※山本由弦教授
副センター長	勝井 辰博	2022.4.1～2024.3.31	

数理・データサイエンスセンター

役職名	氏 名	任 期	運営委員会委員(※は任期なし)
センター長	小澤 誠一	2022.4.1～2024.3.31	村尾元教授(国際文) 岩壺健太郎教授(経済) 劉秋生教授(海) 前田英一特命教授(附属病院) ※小澤誠一教授 ※中村匡秀教授 ※首藤信通教授 ※木村建次郎教授 ※山田明教授 ※堀越啓二特命教授
副センター長	中村 匡秀	2023.4.1～2024.3.31	
副センター長	首藤 信通	2022.4.1～2024.3.31	

表 I-5 : 学内各種委員会理学研究科委員名簿 (2023 年度)

2023 年 5 月 1 日現在

委 員 会 等 名	任期	氏 名(現行)	
理学研究科長		荒 川 政 彦	2022 . 4 . 1 ~ 2024 . 3 . 31
教育研究評議会		研究科長 (役職指定)	
大学評価委員会			
基金委員会			
保健委員会			
入学試験委員会			
施設マネジメント委員会			
附属図書館審議会			
核燃料物質管理委員会			
学術振興基金運営委員会			
評議会	2	竹 内 康 雄	2022 . 4 . 1 ~ 2024 . 3 . 31
ハラスメント防止委員会	2	竹 内 康 雄	2022 . 11 . 1 ~ 2024 . 10 . 31
ハラスメント相談員	2	中 村 昭 子	2022 . 1 . 1 ~ 2023 . 12 . 31
ジェンダー平等推進部門協力教員 ※2022.4.1名称変更	2	保 井 みなみ	2023 . 4 . 1 ~ 2025 . 3 . 31
技術職員職務協議委員会	なし	内 野 隆 司	2022 . 4 . 1 ~ . . .
安全衛生委員会	2	古 家 圭 人 事務課長	2023 . 4 . 1 ~ 2025 . 3 . 31
広報委員会	2	谷 口 隆	2022 . 4 . 1 ~ 2024 . 3 . 31
ホームカミングディプロジェクトチーム委員会	2	谷 口 隆	2022 . 4 . 1 ~ 2024 . 3 . 31
国際連携推進機構国際交流委員会	2	高 岡 秀 夫	2022 . 4 . 1 ~ 2024 . 3 . 31
留学生委員会	2	森 田 光 洋	2023 . 4 . 1 ~ 2025 . 3 . 31
学術研究推進機構 学術研究推進委員会	2	高 岡 秀 夫	2022 . 4 . 1 ~ 2024 . 3 . 31
研究基盤センター運営委員会	2	大 西 洋 山 本 由 弦	2022 . 4 . 1 ~ 2024 . 3 . 31
六甲台地区放射線障害防止委員会	2	山 崎 祐 司	2023 . 4 . 1 ~ 2025 . 3 . 31
エックス線装置安全管理委員会	2	山 崎 祐 司	2023 . 4 . 1 ~ 2025 . 3 . 31
化学物質安全管理委員会	2	松 原 亮 介	2023 . 4 . 1 ~ 2025 . 3 . 31
化学物質安全管理委員会専門委員会	2	津 田 明 彦	2023 . 4 . 1 ~ 2025 . 3 . 31
化学物質取扱主任者	なし	高 橋 一 志	2022 . 4 . 1 ~ . . .
動物実験委員会	2	青 沼 仁 志	2022 . 4 . 1 ~ 2024 . 3 . 31
六甲台地区動物実験委員会	2	青 沼 仁 志	2022 . 4 . 1 ~ 2024 . 3 . 31
遺伝子組換え実験安全委員会(兼安全主任者)	2	石 崎 公 庸	2023 . 4 . 1 ~ 2025 . 3 . 31
遺伝子組換え実験安全主任者	2	塚 本 寿 夫	2022 . 4 . 1 ~ 2024 . 3 . 31
病原体等安全管理委員会	2	横 井 雅 幸	2023 . 4 . 1 ~ 2025 . 3 . 31
研究シーズ取りまとめワーキンググループ		竹 内 康 雄	2021 . 5 ~ . . .
大学教育推進機構 全学評価・FD委員会	1	竹 内 康 雄	2023 . 4 . 1 ~ 2024 . 3 . 31
大学教育推進機構 大学教育推進委員会	1	竹 内 康 雄	2023 . 4 . 1 ~ 2024 . 3 . 31
大学教育推進機構 全学教務委員会	1	石 崎 公 庸	2023 . 4 . 1 ~ 2024 . 3 . 31
大学教育推進機構 国際教養教育委員会	1	石 崎 公 庸	2023 . 4 . 1 ~ 2024 . 3 . 31
教職課程専門委員会	1	石 崎 公 庸	2023 . 4 . 1 ~ 2024 . 3 . 31
ESDコース専門委員会	2	石 崎 公 庸	2022 . 4 . 1 ~ 2024 . 3 . 31
大学教育推進機構 神戸グローバルチャレンジプログラム委員会	2	富 永 圭 介	2023 . 4 . 1 ~ 2025 . 3 . 31
学生委員協議会 (正)	1	横 井 雅 幸	2022 . 10 . 1 ~ 2023 . 9 . 30
(副)	1	高 橋 芳 幸	2022 . 10 . 1 ~ 2023 . 9 . 30
神戸大学入学試験DX委員会 ※2023.4.1名称変更	1	保 井 みなみ	2023 . 5 . 1 ~ 2024 . 4 . 30
入学試験実施委員会	1	福 山 克 司	2023 . 4 . 1 ~ 2024 . 3 . 31
キャリアセンター運営委員会	1	牧 野 淳一郎	2023 . 4 . 1 ~ 2024 . 3 . 31
インクルーシブキャンパス & ヘルスケアセンター 障害学生支援部門運営会議 ※2022.4.1にキャンパスライフ支援センター会議から改組	1	横 井 雅 幸	2022 . 10 . 1 ~ 2023 . 9 . 30
入試改革推進本部本部員	1	深 城 英 弘	2023 . 4 . 1 ~ 2024 . 3 . 31
大学教育推進機構 グローバルサイエンスキャンパス委員会	2	前 田 順 平	2023 . 4 . 1 ~ 2025 . 3 . 31
初年次セミナー専門委員会	1	高 橋 一 志	2023 . 4 . 1 ~ 2024 . 3 . 31
グローバル教育センター運営委員会	2	和 田 昭 英	2022 . 4 . 1 ~ 2024 . 3 . 31
海外学生派遣委員会	2	富 永 圭 介	2022 . 4 . 1 ~ 2024 . 3 . 31

委 員 会 等 名	任期	氏 名(現行)	
インクルーシブキャンパス&ヘルスケアセンター 保健管理部門運営会議 ※2022.4.1に保健管理センター運営委員会から改組	2	牧 野 淳一郎	2021 . 10 . 1 ~ 2023 . 9 . 30
		事 務 課 長	~
環境保全推進センター運営委員会	2	松 原 亮 介	2022 . 4 . 1 ~ 2024 . 3 . 31
環境保全推進員	2	松 原 亮 介	2022 . 4 . 1 ~ 2024 . 3 . 31
中和・曝気槽管理運営ワーキンググループ	1	A棟 古 家 圭 人	2023 . 4 . 1 ~ 2024 . 3 . 31
		B棟 小 手 川 恒	2023 . 4 . 1 ~ 2024 . 3 . 31
		C棟 坂 山 英 俊	2023 . 4 . 1 ~ 2024 . 3 . 31
排水管理責任者	2	坂 山 英 俊	2023 . 4 . 1 ~ 2025 . 3 . 31
環境管理センター技術指導員	なし	古 家 圭 人	2014 . 4 . 1 ~
情報セキュリティ委員会	2	高 山 信 毅	2022 . 4 . 1 ~ 2024 . 3 . 31
情報基盤センター運営委員会	2	高 山 信 毅	2022 . 7 . 1 ~ 2024 . 6 . 30
附属図書館運営委員会 (兼自然科学系図書館図書委員会)	2	和 田 昭 英	2022 . 4 . 1 ~ 2024 . 3 . 31
特別管理産業廃棄物管理責任者	1	松 原 亮 介	2023 . 4 . 1 ~ 2024 . 3 . 31
都市安全研究センター運営委員会	2	山 本 由 弦	2022 . 4 . 1 ~ 2024 . 3 . 31
内海域環境教育研究センター運営委員会	2	青 沼 仁 志	2022 . 4 . 1 ~ 2024 . 3 . 31
分子フォサイエンス研究センター運営委員会	2	和 田 昭 英	2023 . 4 . 1 ~ 2025 . 3 . 31
バイオシグナル総合研究センター運営委員会	2	井 上 邦 夫	2022 . 4 . 1 ~ 2024 . 3 . 31
海洋底探査センター運営委員会	2	吉 岡 祥 一	2022 . 4 . 1 ~ 2024 . 3 . 31
文理農等キャンパス委員会		学 生 委 員	
		事 務 課 長	
先端バイオ工学研究センター運営委員会	2	島 伸 和	2022 . 4 . 1 ~ 2024 . 3 . 31
神戸大学創立120周年記念式典等実行委員会		研究科長	2021 . 6 . ~
神戸大学創立120周年記念募金事業実行委員会		竹 内 康 雄	2021 . 6 . ~
神戸大学120年史編集委員会		福 山 克 司	2022 . 7 . 1 ~ 2024 . 3 . 31

II. 教育活動

II-1 入学試験

II-1-1 学部入学試験

現在の理学部入学者（1年次）の定員は153名、これに第3年次編入学者の定員25名を加えて最終的に1学年の定員は178名となる。理学部への入学者の選抜は、通常の入学試験（前期日程：113名、後期日程：35名）及び総合型選抜（生物学科：3名、惑星学科2名）と第3年次編入入学試験によって行われる。2023年度入学のそれぞれの入学試験状況を表II-1～II-2と表II-3に示す。また第3年次編入学生の出身大学種別を表II-4に、入学者の都道府県別分布を表II-5に示す。

表 II-1：2023 年度 学部入学試験状況一覧

	定 員	志願者数	倍 率	受験者数	合格者数	入学者数
前期日程	113	299(68)	2.65	285(64)	124(24)	123(24)
後期日程	35	400(66)	11.43	161(34)	45(10)	37(6)
総合型選抜	5	13(8)	2.60	5(4)	2(1)	2(1)
合 計	153	712(142)	4.65	451(102)	171(35)	162(31)
★		0(0)	—	0(0)	0(0)	0(0)

（ ）内の数字は女子を内数で示す

前期日程には追試験を含む

★印は私費外国人留学生特別選抜で外数

表 II-2：2023 年度 学科別入学試験状況一覧

学 科	日程区分	定 員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
数学科	前期日程	21	54(6)	52(6)	22(2)	22(2)
	後期日程	7	94(6)	34(3)	11(1)	9(0)
	計	28	148(12)	86(9)	33(3)	31(2)
	★		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
物理学科	前期日程	25	61(2)	59(2)	27(0)	27(0)
	後期日程	10	108(8)	46(3)	12(0)	10(0)
	計	35	168(10)	105(5)	39(0)	37(0)
	★		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
化学科	前期日程	24	51(19)	46(18)	26(12)	26(12)
	後期日程	6	63(25)	18(10)	7(4)	5(3)
	計	30	114(44)	64(28)	33(16)	31(15)
	★		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
生物学科	前期日程	18	58(25)	54(22)	20(6)	20(6)
	後期日程	4	45(14)	20(8)	5(3)	4(2)
	総合型選抜	3	6(4)	3(2)	1(1)	1(1)
	計	25	109(43)	77(32)	26(10)	25(9)
	★		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
惑星学科	前期日程	25	75(16)	74(16)	29(4)	28(4)
	後期日程	8	90(13)	43(10)	10(2)	9(1)

総合型選抜	2	7(4)	2(2)	1(1)	1(1)
計	35	172(33)	119(28)	40(7)	38(6)
★		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

() 内の数字は女子を内数で示す

前期日程には追試験を含む

★印は私費外国人留学生で外数

表 II-3 : 2023 年度 第 3 年次編入学試験概要

学 科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
数学科		38(6)	34(5)	13(3)	11(3)
物理学科		16(2)	14(1)	7(0)	4(0)
化学科		20(4)	18(3)	7(0)	4(0)
生物学科	25	19(8)	18(8)	5(1)	5(1)
惑星学科		4(3)	4(3)	2(1)	2(1)
合 計		97(23)	88(20)	34(5)	26(5)

() 内の数字は女子を内数で示す

表 II-4 : 2023 年度 第 3 年次編入学者出身別分布

学 科	募集人員	高等専門学校	短期大学	4 年制大学	専修学校	計
数学科		3(2)	0(0)	8(1)	0(0)	11(3)
物理学科		0(0)	0(0)	4(0)	0(0)	4(0)
化学科		0(0)	0(0)	4(0)	0(0)	4(0)
生物学科	25	1(0)	0(0)	4(1)	0(0)	5(1)
惑星学科		0(0)	0(0)	2(1)	0(0)	2(1)
合 計		4(2)	0(0)	22(3)	0(0)	26(5)

() 内の数字は女子を内数で示す

表 II-5 : 2023 年度 都道府県別入学志願者数

都道府県		志 願 者		受 験 者		入 学 者	
		人 数	%	人 数	%	人 数	%
北 海 道		7	(0)	1.0	4	(0)	0.9
東 北	青森	0	(0)	0	0	0	(0)
	岩手	1	(0)	0.1	1	(0)	0.2
	宮城	2	(0)	0.3	1	(0)	0.2
	秋田	0	(0)	0	0	0	(0)
	山形	0	(0)	0	0	0	(0)
	福島	0	(0)	0	0	0	(0)
	小計	3	(0)	0.4	2	(0)	0.4
関 東	茨城	2	(1)	0.3	2	(1)	0.4
	栃木	0	(0)	0	0	0	(0)
	群馬	0	(0)	0	0	0	(0)
	埼玉	1	(0)	0.1	0	(0)	0

	千葉	4	(0)	0.6	1	(0)	0.2	1	(0)	0.6
	東京	12	(3)	1.7	8	(2)	1.8	2	(1)	1.2
	神奈川	8	(2)	1.1	5	(1)	1.1	2	(0)	1.2
	小計	27	(6)	3.8	16	(4)	3.5	5	(1)	3.1
甲信越	新潟	5	(0)	0.7	2	(0)	0.4	1	(0)	0.6
	山梨	0	(0)	0	0	(0)	0	0	(0)	0
	長野	3	(0)	0.4	2	(0)	0.4	2	(0)	1.2
	小計	8	(0)	1.1	4	(0)	0.9	3	(0)	1.9
東海	岐阜	13	(4)	1.8	7	(3)	1.6	2	(1)	1.2
	静岡	14	(2)	2.0	12	(1)	2.7	5	(1)	3.1
	愛知	30	(7)	4.2	13	(6)	2.9	2	(2)	1.2
	三重	9	(2)	1.3	4	(1)	0.9	0	(0)	0
	小計	66	(15)	9.3	36	(11)	8.0	9	(4)	5.6
北陸	富山	1	(0)	0.1	1	(0)	0.2	1	(0)	0.6
	石川	11	(4)	1.5	8	(3)	1.8	5	(2)	3.1
	福井	8	(0)	1.1	6	(0)	1.3	2	(0)	1.2
	小計	20	(4)	2.8	15	(3)	3.3	8	(2)	4.9
近畿	滋賀	17	(4)	2.4	9	(2)	2.0	5	(1)	3.1
	京都	67	(11)	9.4	30	(5)	6.7	10	(0)	6.2
	大阪	165	(34)	23.2	111	(22)	24.6	34	(6)	21.0
	兵庫	167	(39)	23.5	111	(33)	24.6	38	(11)	23.5
	奈良	43	(9)	6.0	33	(8)	7.3	13	(3)	8.0
	和歌山	11	(0)	1.5	6	(0)	1.3	4	(0)	2.5
	小計	470	(97)	66.0	300	(70)	66.5	104	(21)	64.2
中国	鳥取	4	(2)	0.6	3	(1)	0.7	1	(0)	0.6
	島根	4	(0)	0.6	3	(0)	0.7	1	(0)	0.6
	岡山	10	(2)	1.4	6	(1)	1.3	3	(1)	1.9
	広島	17	(4)	2.4	12	(3)	2.7	6	(2)	3.7
	山口	8	(0)	1.1	7	(0)	1.6	5	(0)	3.1
	小計	43	(8)	6.0	31	(5)	6.9	16	(3)	9.9
四国	徳島	5	(0)	0.7	3	(0)	0.7	1	(0)	0.6
	香川	8	(1)	1.1	5	(1)	1.1	0	(0)	0
	愛媛	13	(1)	1.8	8	(1)	1.8	4	(0)	2.5
	高知	7	(4)	1.0	4	(2)	0.9	2	(0)	1.2
	小計	33	(6)	4.6	20	(4)	4.4	7	(0)	4.3
九州	福岡	10	(1)	1.4	8	(1)	1.8	1	(0)	0.6
	佐賀	2	(0)	0.3	1	(0)	0.2	1	(0)	0.6
	長崎	3	(0)	0.4	3	(0)	0.7	3	(0)	1.9
	熊本	2	(1)	0.3	0	(0)	0	0	(0)	0
	大分	3	(1)	0.4	2	(1)	0.4	1	(0)	0.6
	宮崎	6	(2)	0.8	3	(2)	0.7	1	(0)	0.6

	鹿児島	1	(0)	0.1	0	(0)	0	0	(0)	0
	沖縄	3	(1)	0.4	3	(1)	0.7	0	(0)	0
	小計	30	(6)	4.2	20	(5)	4.4	7	(0)	4.3
	その他	5	(0)	0.7	3	(0)	0.7	1	(0)	0.6
	総計	712	(142)	100	451	(102)	100	162	(31)	100

注()内の数字は女子を内数で示す。

II-1-2 大学院博士課程前期課程入学試験

大学院理学研究科博士課程前期課程の入学試験の概要を表 II-6 から表 II-7 に示す。

表 II-6 : 2023 年度 大学院博士課程前期課程入学試験概要

専攻	定員	志願者	受験者	合格者	辞退者	倍率	入学者
数学専攻	22	33(4)	29(4)	27(4)	5(1)	1.5	22(3)
外国人留学生		1(0)	1(0)	0(0)	0(0)		0(0)
英語コース		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)		0(0)
物理学専攻	24	33(4)	31(4)	30(4)	7(1)	1.4	23(3)
外国人留学生		2(0)	2(0)	1(0)	0(0)		1(0)
英語コース		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)		0(0)
化学専攻	28	41(12)	38(11)	28(7)	0(0)	1.5	28(7)
外国人留学生		7(3)	7(3)	4(2)	0(0)		4(2)
英語コース		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)		0(0)
生物学専攻	24	34(10)	30(9)	29(9)	8(2)	1.4	21(7)
外国人留学生		2(1)	2(1)	1(1)	0(0)		1(1)
英語コース		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)		0(0)
惑星学専攻	24	30(6)	30(6)	24(6)	2(1)	1.3	22(5)
外国人留学生		2(0)	2(0)	1(0)	0(0)		1(0)
英語コース		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)		0(0)
合計	122	171(36)	158(34)	138(30)	22(5)	1.4	116(25)
外国人留学生		14(4)	14(4)	7(3)	0(0)		7(3)
英語コース		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)		0(0)

() 内の数字は女子を内数で示す

外国人留学生欄は、外国人留学生特別選抜入学試験

表 II-7 : 2023 年度 出身大学別大学院博士課程前期課程入学者一覧

出身大学	数学	物理学	化学	生物学	惑星学	計
神戸大学理学部	16	20	28	19	21	104
愛媛大学理学部		1				1
茨城大学理学部		1				1
東北大学理学部	1					1
富山大学理学部					1	1

鹿児島大学水産学部				1 (1)		1 (1)
和歌山大学教育学部		1				1
甲南大学理工学部				1		1
中央大学理工学部	1					1
大阪教育大学教育学部	1					1
近畿大学理工学部	2			1		3
立命館大学理工学部	1					1
中国 河北大学化学と環境科学部			1 (1)			1 (1)
中国 広西大学化学化工学部			1 (1)			1 (1)
中国 長春理工大学材料科学・工学部			1 (1)			1 (1)
中国 天津工業大学材料科学・工学部			1 (1)			1 (1)
中国 西安電子科技大学物理・光電工学部		1 (1)				1 (1)
中国 内蒙古工業大学機械工学部					1 (1)	1 (1)
合計	22 (0)	24 (1)	32 (4)	22 (1)	23 (1)	123 (7)

() 内の数字は外国人留学生を内数で示す

II-1-3 大学院博士課程後期課程入学試験

大学院理学研究科博士課程後期課程の入学試験の概要を表 II-8 に示す。

表 II-8 : 2023 年度 大学院博士課程後期課程入学試験概要

4 月入学

専攻	定員	志願者	受験者	合格者	辞退者	入学者
数学専攻	4	3(1)	3(1)	3(1)	0(0)	3(1)
物理学専攻	5	3(0)	3(0)	3(0)	0(0)	3(0)
化学専攻	6	2(2)	2(2)	2(2)	0(0)	2(2)
生物学専攻	6	6(1)	6(1)	6(1)	1(0)	5(1)
惑星学専攻	6	2(1)	2(1)	2(1)	0(0)	2(1)
合 計	27	16(5)	16(5)	16(5)	1(0)	15(5)

学内進学者を含む

() 内の数字は女子を内数で示す

10 月入学

専攻	志願者	受験者	合格者	辞退者	入学者
数学専攻	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
物理学専攻	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
化学専攻	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
生物学専攻	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
惑星学専攻	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
合 計	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

学内進学者を含む

() 内の数字は女子を内数で示す

II-2 授業の実施状況

理学研究科・理学部では、各専攻・学科の教育課程編成と実施方針に基づき、授業科目を体系的に配置している。2023年度の授業科目数を表 II-9 と表 II-10 に示す。また、授業の実施にあたっては、対面方式での授業と併せて、教育効果を高めるために対面授業と遠隔授業を組み合わせたハイブリット方式での授業を展開している。2023年度に開講した遠隔授業・ハイブリット方式の授業科目を表 II-11 と表 II-12 に示す。

表 II-9 : 2023 年度理学部実施授業科目数

		学科共通	数学科	物理学科	化学科	生物学科	惑星学科
講義	必修・ 選択必修	13	38	44	62	56	61
	選択・ その他	1		3	3	3	3
演習	必修・ 選択必修		13	5	5	4	7
	選択・ その他	7					
実験 ・実習	必修・ 選択必修			6	3	12	8
	選択・ その他	4					

表 II-10 : 2023 年度理学研究科実施授業科目数

		専攻共通	数学専攻	物理学 専攻	化学専攻	生物学 専攻	惑星学 専攻
講義	必修・ 選択必修	3	30	26	21	24	30
	選択・ その他						
演習	必修・ 選択必修		3	8	10	4	6
	選択・ その他						
実験 ・実習	必修・ 選択必修						
	選択・ その他						

表 II-11 : 2023 年度理学部遠隔授業・ハイブリット方式の授業科目

No.	学科	授業科目名	開講形態
1	数学科	計算数学Ⅰ・同演習	ハイブリッド（対面）
2	数学科	特別講義 Introductory Mathematics	遠隔
3	物理学科	素粒子物理学	ハイブリッド（対面）
4	物理学科	古典力学	ハイブリッド（対面）
5	物理学科	解析力学	ハイブリッド（対面）
6	物理学科	古典電磁気学	ハイブリッド（対面）
7	物理学科	現代物理学	ハイブリッド（対面）
8	物理学科	化学科物理学概論	ハイブリッド（対面）
9	物理学科	生物学科物理学概論	ハイブリッド（対面）
10	物理学科	惑星学科物理学概論	ハイブリッド（対面）
11	物理学科	物理数学Ⅰ	ハイブリッド（対面）
12	物理学科	物理数学Ⅱ	ハイブリッド（対面）
13	物理学科	量子力学Ⅰ	ハイブリッド（対面）
14	物理学科	量子力学Ⅱ	ハイブリッド（対面）
15	化学科	化学熱力学Ⅲ-1	ハイブリッド（対面）
16	化学科	化学反応論Ⅰ	ハイブリッド（対面）
17	化学科	化学熱力学Ⅱ-1	ハイブリッド（対面）
18	化学科	化学熱力学Ⅱ-2	ハイブリッド（対面）
19	化学科	有機構造化学Ⅰ	ハイブリッド（対面）
20	化学科	有機構造化学Ⅱ	ハイブリッド（対面）
21	化学科	有機化学Ⅲ-1	ハイブリッド（対面）
22	化学科	有機化学Ⅲ-2	ハイブリッド（対面）
23	化学科	Introduction to Chemistry	ハイブリッド（遠隔）
24	化学科	生物化学Ⅰ-1	ハイブリッド（対面）
25	化学科	生物化学Ⅰ-2	ハイブリッド（対面）
26	化学科	分析化学Ⅰ-1	ハイブリッド（対面）
27	化学科	分析化学Ⅰ-2	ハイブリッド（対面）
28	化学科	有機化学Ⅱ-1	ハイブリッド（対面）
29	化学科	有機化学Ⅱ-2	ハイブリッド（対面）
30	化学科	特別講義 Frontiers of Chemistry	遠隔
31	生物学科	生化学基礎Ⅱ	ハイブリッド（対面）
32	惑星学科	固体惑星探査学	ハイブリッド（対面）
33	惑星学科	惑星流体力学	ハイブリッド（対面）
34	惑星学科	宇宙惑星科学Ⅰ	ハイブリッド（対面）

表 II-12 : 2023 年度理学研究科遠隔授業・ハイブリット方式の授業科目

No.	専攻	授業科目名	開講形態
1	数学専攻	数学コミュニケーション統論	ハイブリッド（対面）
2	数学専攻	計算情報数学	ハイブリッド（対面）
3	数学専攻	先端融合科学特論 A(数学)	ハイブリッド（対面）
4	数学専攻	応用数理特論 3a	ハイブリッド（対面）
5	数学専攻	応用数理特論 3b	ハイブリッド（対面）
6	数学専攻	応用数理特論 4a	ハイブリッド（対面）
7	数学専攻	応用数理特論 4a	ハイブリッド（対面）
8	数学専攻	特別講義 High-Level Mathematics	遠隔
9	数学専攻	特別講義 Advanced Mathematics	遠隔
10	物理学専攻	素粒子実験学 I	ハイブリッド（対面）
11	化学専攻	物理化学 I	ハイブリッド（対面）
12	化学専攻	物理化学特論 I	ハイブリッド（対面）
13	化学専攻	有機化学 II	ハイブリッド（遠隔）
14	化学専攻	生物化学特論	ハイブリッド（遠隔）
15	化学専攻	構造解析学	ハイブリッド（遠隔）
16	化学専攻	構造解析学特論	ハイブリッド（遠隔）
17	化学専攻	特別講義 Frontiers of Chemistry	遠隔
18	惑星学専攻	新領域惑星学特論 I	ハイブリッド（対面）
19	惑星学専攻	新領域惑星学特論 I-1	ハイブリッド（対面）
20	惑星学専攻	基礎惑星学特論 I	ハイブリッド（対面）
21	惑星学専攻	基礎惑星学特論 I-1	ハイブリッド（対面）
22	惑星学専攻	惑星学詳論 I-3	遠隔

II-3 授業改善の取り組み

II-3-1 学生による授業評価

理学研究科・理学部では、学生による授業評価を専攻・学科ごとに実施してきた。授業改善のためには、それぞれの教員の工夫と努力が必要であり、これまでも数々の個別の努力が「分かりやすい授業」をめざして続けられて来た。学生による授業評価は、このような教員ごとの授業改善の一助として使われることを目的として行なわれている。アンケートの質問形式、回答形式、回収方法、集計とデータの公表の仕方などは、専攻・学科ごとの特性に合わせた工夫がなされ今日に至っている。

平成 16 年度からは、理学研究科・理学部の正式な事業として学生による授業評価を行っている。また、この学生による授業評価を用いて、授業に何らかの問題がある場合に、これを早期に発見し、検証し、不都合がある場合は改善を授業担当者に勧告するシステムを各専攻・学科でスタートした。このシステムの中心になるのは各専攻の専攻長と自己評価委員である。

平成 18 年度後期からは全学的に統一された Web 形式での授業評価アンケートが実施されている。これは、学生からの意見や質問に対して回答できるシステムとなっており、これまで一方的であった学生による授業評価が双方向的になっている。この全学 Web 形式の授業評価アンケートの回答率は 10%前後であり、授業改善のための基礎資料として不十分であった為、理学部・理学研究科では独自にマークシート方式の授業評価アンケートを平成 22 年度からおこなってきた。この方式では、60%前後と高い回答率を実現できていた。

しかしながら、コロナ禍を契機に令和 3 年度より、マークシート方式・Web 方式を併用した授業評価アンケートによる調査から全面的に Web 方式による実施となった。

表 II-13 に集計結果を示す。履修登録数に対する回答率は 25%前後であり、これまでのマークシート方式に比べると若干下がってはいるが、従来の全学 Web 形式のアンケートの回答率 10%前後に比べると依然高い。後期のアンケート回答率は前期より低い傾向がある。また、理学部に比べて理学研究科の授業については回答率が依然として低いが、2023 年度は回復傾向を示している。

授業評価の結果は各専攻の自己評価委員から各教員にフィードバックされ、授業改善に役立てられている。これと連動する形で平成 22 年度から教員の教育活動の実績について自己評価という形で各教員がまとめ、この年次報告書に組み込むこととした。従って、授業評価アンケートの結果は各教員が年次報告書中の「教育活動の記録」を作成する際の重要な基礎資料となっている。

表 II-13 : 授業振り返りアンケート集計結果 (2023 年度)

前期					
	対象授業科目	履修登録	実施科目	回答者	回答率
理学部	147	4652	130	1341	28.8
理学研究科	32	612	21	148	24.2
計	179	5264	151	1489	28.3
後期					
	対象授業科目	履修登録	実施科目	回答者	回答率
理学部	150	4276	128	1041	24.3
理学研究科	21	267	16	43	16.1
計	171	4543	144	1084	23.9
評価点(前期)					
設問番号	前期集計	前期集計			
	学部	研究科			
1	2.39	2.51			
2	3.90	3.78			

3	3.68	3.57
5(複数回答可)	—	—
7	4.31	4.14
8	4.54	4.42
1-8 の平均	3.76	3.68
自由記述欄		
4	141 件/1341 件	8 件/148 件
自由記述欄		
6	205 件/1341 件	17 件/148 件

評価点(後期)

設問番号	後期集計 学部	後期集計 研究科
1	2.64	2.33
2	3.89	4.26
3	3.60	3.51
5(複数回答可)	—	—
7	4.26	4.60
8	4.50	4.72
1-8 の平均	3.78	3.88
自由記述欄		
4	86 件/1041 件	11 件/43 件
自由記述欄		
6	148 件/1041 件	13 件/43 件

II-3-2 授業参観（ピアレビュー）

平成 21 年度から全学的な FD 活動の一環として、教員相互による授業参観（ピアレビュー）を実施している。学生による授業評価アンケートとは異なる視点からの授業改善に向けた取り組みであり、表 II-14 に実施状況を示す。

表 II-14：教員相互による授業参観実施状況（2021-2023 年度）

	数学			物理学			化学			生物学			惑星学		
年度	21	22	23	21	22	23	21	22	23	21	22	23	21	22	23
学部(前期)	14	17	13	22	27	0	17	12	7	40	32	29	0	0	0
学部(後期)	0	0	0	36	60	0	12	0	3	7	22	11	0	0	0
大学院(前期)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	69	24	28
大学院(後期)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	9	4
計(人)	14	17	13	58	87	0	29	12	10	47	54	40	79	33	32

II-4 学生生活の支援

学生の修学を支援するための奨学金や授業料減免の状況を表 II-15 から表 II-21 に示す。また、大学院後期課程学生が研究に専念するための経済的支援に関する状況を表 II-22 に示す。

表 II-15：学部学生の奨学金受給状況（2023 年度）

日本学生支援機構奨学金

種別	数学	物理学	化学	生物学	惑星学	計
第一種(無利子)	14	17	10	12	19	72
第二種(有利子)	8	16	12	12	16	64
給付型	12	15	9	10	16	62
計	34	48	31	34	51	198

第一種及び第二種の併用貸与は、それぞれに計上

表 II-16：大学院前期課程学生の奨学金受給状況（2023 年度）

日本学生支援機構奨学金

種別	数学	物理学	化学	生物学	惑星学	計
第一種(無利子)	6	12	11	5	10	44
第二種(有利子)	0	2	0	0	2	4
計	6	14	11	5	12	48

第一種及び第二種の併用貸与は、それぞれに計上

表 II-17：大学院後期課程学生の奨学金受給状況（2023 年度）

日本学生支援機構奨学金

種別	数学	物理学	化学	生物学	惑星学	計
第一種(無利子)	1	2	3	2	2	10
第二種(有利子)	0	0	0	0	1	1
計	1	2	3	2	3	11

第一種及び第二種の併用貸与は、それぞれに計上

表 II-18：学部学生の授業料減免状況（2023 年度）

種別	数 学		物 理 学		化 学		生 物 学		惑 星 学		合 計	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
申請者数	8	16	26	20	9	14	8	12	17	8	74	74
全額免除	0	8	9	9	3	8	5	5	17	8	34	38
半額免除	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2/3 免除	7	5	8	4	1	1	2	4	4	3	22	17
1/3 免除	0	1	5	4	1	2	1	2	1	0	8	9

表 II-19 : 大学院前期課程学生の授業料減免状況 (2023 年度)

種別	数 学		物理学		化 学		生物学		惑星学		合 計	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
申請者数	7	6	11	7	10	10	1	0	11	12	40	35
全額免除	5	3	8	6	9	5	0	0	9	9	31	23
半額免除	2	2	2	0	0	2	1	0	2	3	7	7

表 II-20 : 大学院後期課程学生の授業料減免状況 (2023 年度)

種別	数 学		物理学		化 学		生物学		惑星学		合 計	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
申請者数	5	6	5	5	8	7	10	9	5	5	33	32
全額免除	5	6	4	4	2	1	7	7	5	5	23	23
半額免除	0	0	0	0	3	6	3	2	0	0	6	8

表 II-21 : 各種奨学金の受給状況 (2023 年度)

	数 学	物理学	化 学	生物学	惑星学
学部	電通育英会(学部) 島根県育英会奨学資金	三木市教育委員会奨学金	ほくと育英会 市川国際奨学財団 森下育英会 中山報恩会 平和中島財団 夢&環境支援宮崎記念基金	中山報恩会 夢&環境支援宮崎記念基金	キーエンス財団 業務スーパー 派遣留学奨学生 村尾育英会 電通育英会(学部) 福岡育英会
大学院	浦上奨学金 千趣留学生奨学財団	中山報恩会	伊藤忠兵衛基金(旧 昭和報公会) 吉村財団 千趣留学生奨学財団		G-7奨学財団 ウシオ財団 吉村財団

表 II-22 : 大学院後期課程学生支援プロジェクトの実施状況

神戸大学博士学生フェローシップ制度 (2021 年度より実施)

(文部科学省「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」)

年度	新規採用者数
2023	2
2022	3
2021	2

支援内容：研究専念支援金、研究費、授業料全額免除

神戸大学「異分野共創による次世代卓越博士人材育成プロジェクト」 (2021 年度より実施)

(国立研究開発法人科学技術振興機構「次世代研究者挑戦的研究プログラム」)

年度	新規採用者数
2023	8
2022	13
2021	20

支援内容：研究専念支援金、研究費

II-5 就職の支援

大学院生・学部生の就職活動の組織的な支援は「理学研究科・理学部就職委員会」が行っている。「理学研究科・理学部就職委員会」は2004年度に「理学部就職委員会」として設置（「神戸大学理学部就職委員会内規」）され、2007年4月に部局改組に伴い改組改名された組織である。理学部における従前の就職支援活動は学科ごとの個別の対応に過ぎず、学科間の就職関連情報の共有と学科横断の就職支援活動は十分ではなかった。「理学部就職委員会」は、近年の就職状況の多様化と競争激化の潮流に対応するため、理学部教務学生係、理学部キャリアサポートネットワーク（KSN、後に理学部同窓会就職支援委員会に一本化）の支援を受けて設立され、設立と同時に理学部同窓会の全面的協力も得て有効な活動を続けてきた。現在、「理学研究科・理学部就職委員会」は、数学、物理学、化学、生物学、惑星学の各専攻より1名の委員で構成され、委員会オブザーバとして理学研究科副研究科長、理学部同窓会会長ならびに同就職支援委員会委員長の参加のもとに、教務学生係がその事務を担当している。2023年度の「理学研究科・理学部就職委員会」の活動状況は以下のとおりである。

II-5-1 理学研究科・理学部就職委員会主催の就職支援講座開催

2023年度の理学研究科・理学部就職委員会（以下就職委員会）の就職支援活動は、就職活動に最低限必要な常識を身につけさせるために4回の就職支援講座等を設定した。主な対象は、学部3年生および修士1年生である。就職委員会が主催した就職支援講座等の概要と参加者数を表II-23に示す。

表 II-23：就職支援講座実施状況（2023 年度）

	開催日 会 場	テーマ	参加者数		
第 1 回	10 月 12 日（木） Y 2 0 1 教室	「自己PR・ES対策」 〔講師：武田佳久氏〕	29		
			学部生	22	
			大学院生	7	
第 2 回	10 月 19 日（木） Y 2 0 1 教室	「就活・進学の一考（GD）」 〔講師：武田佳久氏〕	17		
			学部生	5	
			大学院生	9	
第 3 回	11 月 16 日（木） Y 2 0 1 教室	「WEB面接体験（集団）」 〔講師：武田佳久氏〕	8		
			学部生	2	
			大学院生	6	
第 4 回	11 月 30 日（木） Y 2 0 1 教室	「WEB面接体験（個人）」 〔講師：武田佳久氏〕	6		
			学部生	2	
			大学院生	4	

前年度と同様に、理学部就職委員会および理学部同窓会就職支援委員会は、武田佳久氏を就職委員会に招き、理学系学部生・大学院生対象の就職支援講座の内容について打ち合わせを行った。それに基づき、武田氏に就職支援講座の講師をお願いした。

就職委員会と理学部同窓会（くさの会）就職支援委員会との共催による「理学系 OB・OG 合同会社説明会」を例年開催しており、数学、物理学、化学、生物学、惑星学の5専攻（学科）全体を主対象に理学系の学部生・大学院生が参加できるように、前年度までに蓄積された企業リストなどをもとに、理学部卒業生・理学研究科修了生などを招いての開催を計画している。本説明会は求人求職に直結する求人説明会ではない。職業人として企業と社会へ貢献する方法や、貢献の土台として在学中に身につけておくべきスキルなどを、先輩である理学系OB・OGから親しくうかがう機会を在校生に提供するキャリア教育の場である。新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年度と2021年度のOB・OG合同会社説明会の開催は中止となった。2022年度は2月20日に3月からの本格的な就職活動シーズンを前にした「理学系OB・OG 交流会」を開催した。2023年度はさらに時期を早めて12月15日に開催した。

2023年度「理学系OB・OG交流会」の概要

開催日：2023年12月15日（金）14:00～19:00

会場：理学部Z棟、Y棟、B棟

スケジュール：13:30～ 学生受付

14:00～14:30 第一部 全体交流会

14:30～17:15 第二部 企業別教室での交流会

17:40～19:00 OB・OG社員との懇親会

参加企業〔18社(42名)、順不同〕

アルトナー（1名）、（一財）日本気象協会（2名）、宇宙技術開発（2名）、東芝（2名）、オースビー（3名）、キャノン（2名）、神戸製鋼所（3名）、コベルコ科研（2名）、デンソーテン（2名）、東陽テクニカ（名）、長瀬産業（2名）、大和製衡（2名）
（独）エネルギー・金属鉱物資源機構（4名）、日立製作所（4名）、三菱電機（3名）、フードテクノエンジニアリング（2名）、三ツ星ベルト（2名）、村田製作所（2名）

II-5-2 その他の活動

- (1) KTC 就職セミナー：神戸大学工学振興会（KTC）と理学部同窓会（くさの会）就職委員会が主催するKTC 就職セミナー（<http://www.ktc-seminer.net/>）の広報を就職委員会が積極的に担うこととし、理学部各専攻・学科の就職希望院生・学部生へのKTC就職セミナーへの参加を推奨し、就職情報の提供に努めた。特に、就職活動開始時期の早い、化学、生物、食品、製薬、医療などの分野の企業・業界研究や就職活動情報をはじめとした、強い企業人脈を持つKTCの有用な情報は、理学研究科・理学部の学生達にも大いに利用されている。
- (2) 各専攻における企業訪問対応：企業の採用担当者の訪問には各専攻就職委員が個別に対応し、得られた情報を専攻内へ共有した。

II-5-3 「理学部学生支援室」

2012年の学舎再配置の際に「学生コモンルーム」が開設され、その一角に学生支援室の機能を持たせた。平日午前8時30分より午後10時までの時間帯で開放している。学生の就職支援だけでなく、理学部学生の交流や自主学習、自主ゼミ等のスペースとして活用されている。

学生コモンルーム正面に設置した掲示板はこれまで求人求職情報（求人説明会など）とキャリア教育情報（インターンシップなど）を区別せずに掲示してきた。キャリア教育活動の比重が高まってきたことを受け、掲示板を2分割して求人求職活動とキャリア教育活動を区別して学生に周知することに改めた。

2017年に神戸大学ラーニングコモンズに登録し、全学に公開することで、学内の共有スペースとしてさらなる活用を図っている。

II-5-4 理学部同窓会との連携

- (1) 「理学部同窓会就職支援委員会」が2004年度に設立された。「理学部同窓会就職支援委員会」の活動は2005年度に軌道に乗り、「理学部キャリアサポートネットワーク（KSN）」は2005年度に発展的に「理学部同窓会就職支援委員会」に一本化された。
- (2) 「本学部学生の就職支援に関する懇談会」を2005年2月に開催し、理学部就職委員、理学部同窓会就職支援委員会委員が参加した。本学部を取り巻く状況について説明・紹介し、就職支援のあり方、方策について懇談、理学部と同窓会とが協力して就職支援を進めることを確認した。その後、両委員会は協力して学生の就職活動支援を進めてきている。
- (3) 2005年以降毎年開催してきた「理学系OB・OGによる合同会社説明会」を共催している。2022年度からは、3月からの本格的な就職活動シーズンを前にした「理学系OB・OG交流会」を開催している。
- (4) 「理学部OB・OGリスト（民間企業、教育機関）」は理学部同窓会により作成され、学生コモンルームに掲示している。
- (5) 理学研究科・理学部就職委員会には「理学部同窓会就職支援委員会」の委員の参加をお願いし（前述）、各種就職支援行事は理学研究科・理学部就職委員会と理学部同窓会就職支援委員会との共催として実施している。本年度も理学部同窓会にはこれらの事業実施において多大な貢献をいただいた。

II-6 卒業、修了及びその後の進路

理学部卒業生、及び大学院理学研究科修了生の状況とその後の進路についての状況を下記の表にまとめた。さらに日本学術振興会の DC および PD に採用になった学生数をまとめた。また、大学院理学研究科博士課程大学院生の TA、RA への採用状況も補足的なデータとなるが、まとめている。

II-6-1 学部卒業生・大学院前期課程修了生の進路

学部学生の卒業後の進路（進学・就職）および理学系大学院前期課程の修了生の修了後の進路の過去 5 年間の状況を、次ページ以降に年度ならびに学科・専攻ごとに表 II-24 から表 II-33 に示す。

表 II-24：学部卒業生の進路（数学科）

	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
民間	12	4	8	6	*8
教員	1	3	2	4	1
地方公務員	0	0	2	0	0
国家公務員	0	1	0	1	0
神戸大学大学院	14	11	14	16	20
京都大学大学院	1	0	1	2	1
大阪大学大学院	0	0	0	0	1
名古屋大学大学院	0	1	2	1	1
東京工業大学	0	0	0	0	1
東京大学大学院	1	0	0	0	0
東北大学大学院	0	0	1	0	0
兵庫教育大学大学院	1	0	0	0	0

*2023 年度民間就職先：アイソルート、アスザックフーズ、オープンアップ IT エンジニア、日鉄ドラム、北國フィナンシャルホールディングス、みずほリサーチ&テクノロジーズ、りそな銀行、ワールドインテック

表 II-25：学部卒業生の進路（物理学科）

	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
民間	3	10	4	2	*9
教員	2	0	0	0	0
地方公務員	0	0	1	0	0
国家公務員	0	0	1	0	0
国立大学法人	0	0	1	0	0
神戸大学大学院	20	18	22	19	22
大阪大学大学院	5	1	5	5	5

九州大学大学院	0	1	0	0	0
京都教育大学大学院	1	0	0	0	0
筑波大学大学院	0	0	0	0	1
東京大学大学院	1	2	0	1	1
東京工業大学大学院	0	0	0	1	0
名古屋大学大学院	0	2	1	1	0
兵庫教育大学大学院	0	0	0	1	0
三重大学大学院	0	0	0	1	0
サセックス大学大学院	0	0	0	0	1
航空大学校	0	0	0	0	1
神戸大学大学院研究生	1	0	0	0	0

*2023 年度民間就職先： アイリスオーヤマ、アクセンチュア、NTT データ、JCB、シノプス、DYM、パーソル AVC テクノロジー、富士フイルム、フードテクノエンジニアリング

表 II-26：学部卒業生の進路（化学科）

	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
民間	2	9	4	4	*5
教員	2	0	0	0	0
地方公務員	0	0	0	1	1
国家公務員	2	0	0	0	0
神戸大学大学院	21	22	26	30	24
大阪大学大学院	0	1	2	0	0
東京大学大学院	0	2	0	0	0
奈良先端科学技術大学院大学	0	0	1	1	1
神戸大学大学院研究生	0	1	0	0	0

*2023 年度民間就職先： エルディーサポート、帝人、ニトリ、野村総合研究所、マクニカ

表 II-27：学部卒業生の進路（生物学科）

	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
民間	4	4	4	3	*5
教員	0	0	1	0	0
地方公務員	0	0	0	1	0
神戸大学大学院	19	21	21	18	16
大阪大学大学院	0	0	1	2	2
京都大学大学院	3	2	4	2	1
総合研究大学院大学先端学術院	0	0	0	0	1
筑波大学大学院	0	0	0	0	1
東京大学大学院	1	1	1	0	1
Pennsylvania State University	0	0	0	1	0

*2023 年度民間就職先： サービス&セキュリティ、大協精工、博報堂、ひょうご税理士法人、良品計画

表 II-28 : 学部卒業生の進路 (地球惑星科学科・惑星学科)

	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
民間	15	9	10	5	* 7
教員	0	0	0	0	1
地方公務員	1	2	1	0	0
国家公務員	1	0	0	3	1
神戸大学大学院	13	20	22	21	19
大阪公立大学大学院	0	0	1	0	0
大阪大学大学院	0	0	0	1	1
京都大学大学院	2	0	0	0	2
東京工業大学院	0	0	1	0	1
東京大学大学院	2	0	0	2	1
東北大学大学院	1	0	0	0	1
総合研究大学院大学	1	0	0	0	0
名古屋大学大学院	0	0	0	2	0

*2023 年度民間就職先： アンダーソン毛利・友常法律事務所，EY 新日本有限責任監査法人，
紀陽情報システム，デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザー合同会社，ドーン，ニ
トリ，三菱電機ソフトウェア

表 II-29 : 大学院前期課程修了生の進路 (数学専攻)

	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
民間	17	13	7	11	* 17
教員	1	0	3	1	2
国家公務員	0	1	1	0	0
神戸大学大学院	2	2	3	2	1
名古屋大学大学院	1	0	0	0	0
他大学(医学部)	1	0	0	0	0

*2023 年度民間就職先： EY ストラテジーアンドコンサルティング，エクシオ・デジタルソリ
ューションズ，NSSL C サービス，NTT データ，キーエンスソフトウェア，計測技研，住友電
工情報システム，大樹生命保険，TIS，ニトリ，日本生命保険相互会社，日本総合研究所，
パナソニックインフォメーションシステムズ，ファースト住建，プルデンシャル生命保険，星
野リゾート，三井住友海上火災保険

表 II-30 : 大学院前期課程修了生の進路 (物理学専攻)

	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
民間	20	16	17	13	* 18
教員	1	1	1	1	1
国家公務員	0	0	0	1	0
国立研究開発法人	0	0	1	0	0
神戸大学大学院	3	2	4	3	1

大阪公立大学大学院	0	0	0	1	0
東京大学大学院	0	0	0	0	1
広島大学大学院	0	1	0	0	0

＊2023 年度民間就職先： ACCESS, オリンパス, 京セラ, コベルコ科研, SCREEN ホールディングス, Chatwork, 寺岡精工, 西日本旅客鉄道, 日本生命保険相互会社, 日本通運, パナソニックインダストリー, みずほリサーチ&テクノロジーズ, 三菱重工業, 三菱電機, 三菱電機ソフトウェア, ユナイテッド・セミコンダクタージャパン

表 II-31：大学院前期課程修了生の進路（化学専攻）

	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
民間	32	19	17	22	* 22
教員	0	1	0	0	0
国家公務員	0	1	0	0	0
地方公務員	1	0	0	1	0
神戸大学大学院	0	6	3	2	4
シンガポール国立大学大学院	1	0	0	0	0

＊2023 年度民間就職先： アクセンチュア, アース製薬, ウェスタデジタル合同会社, AGC セラミックス, 大阪有機化学工業, 三洋化成工業, 山陽特殊製鋼, JASM, 指月電機製作所, 新興出版社啓林館, シンプレクス・ホールディングス, ダイキン工業, 大日本科研, 東レ, TOPPAN, ナード研究所, 日本 IBM, パナソニックエナジー, 丸善石油化学, ライオン, レーザーテック, ローム

表 II-32：大学院前期課程修了生の進路（生物学専攻）

	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
民間	21	16	19	14	* 21
教員	1	1	0	0	0
国家公務員	0	1	0	0	1
神戸大学大学院	0	4	3	5	3
名古屋大学大学院	1	0	0	0	0
京都工芸繊維大学大学院	1	0	0	0	0

＊2023 年度民間就職先： アドバンテック, いなば食品, H.U.グループホールディングス, NHK, 王子ホールディングス, 大塚食品, 大塚製薬, goffa, コナミデジタルエンタテインメント, 住友化学, 住友林業, 総合水研究所, 中外製薬, タカラベルモント, ネスレ日本, バローホールディングス, 兵庫ベンダ工業, プリマハム, 三菱商事ライフサイエンス, 雪印メグミルク, リニューアル・ジャパン

表 II-33 : 大学院前期課程修了生の進路 (惑星学専攻)

	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
民間	19	10	13	13	* 11
教員	0	0	1	0	0
地方公務員	0	0	1	0	0
国家公務員	1	1	1	1	2
神戸大学大学院	3	5	1	2	8
他大学(医学部)	0	1	0	0	0

*2023 年度民間就職先： インテック，NTT ドコモ，JSOL，全日本空輸，ディップ，電通国際
情報サービス，パナソニック，富士通，三菱商事，三菱電機ソフトウェア

II-6-2 卒業、大学院博士前期課程修了、博士学位取得状況の年次推移

神戸大学理学部、理学研究科における過去5年間（2019年度-2023年度）の学位取得の状況を年度ごと、理学部全体、及び学科・専攻ごとに分けて示す。

表 II-34：理学部卒業生数の推移

年度	2019		2020		2021		2022		2023	
	入学 年度	卒業 者数	入学 年度	卒業 者数	入学 年度	卒業 者数	入学 年度	卒業 者数	入学 年度	卒業 者数
学部 3月 卒業生			2013	1						
	2014	2	2014	1						
	2015	11	2015	3	2015	2				
	2016	125	2016	11	2016	3				
			2017	127	2017	10	2017	4		
					2018	130	2018	7	2018	4
							2019	138	2019	7
									2020	134
	計	138	計	143	計	145	計	149	計	145
3年次 編入生 3月 卒業生	2017	1								
	2018	26	2018	2						
			2019	24						
					2020	25				
							2021	22	2021	2
									2022	21
	計	27	計	26	計	25	計	22	計	23
計		165		169		170		171		168
学部 9月 卒業生										
					2013	1				
	2015	1								
					2016	1				
					2017	1				
	計	1	計	0	計	3	計	0	2019 計	3
3年次 編入生 9月 卒業生										
							2020	1		
	計	0	計	0	計	3	計	1	計	0
計		1		0		3		1		3

表 II-35 : 数学科卒業生数の推移

年度	2019		2020		2021		2022		2023	
	入学 年度	卒業 者数	入学 年度	卒業 者数	入学 年度	卒業 者数	入学 年度	卒業 者数	入学 年度	卒業 者数
学部 3 月 卒業生	2015	2	2015	1						
	2016	21	2016	1	2016	1				
			2017	24	2017	2	2017	1		
					2018	25			2018	1
							2019	27	2019	1
									2020	23
	計	23	計	26	計	28	計	28	計	25
3 年次 編入生 3 月 卒業生	2018	9								
			2019	3						
					2020	6				
							2021	6	2021	2
									2022	7
	計	9	計	3	計	6	計	6	計	9
計		32		29		34		34		34
学部 9 月 卒業生										
	計	0	計	0	計	0	計	0	計	0
3 年次 編入生 9 月 卒業生										
	計	0	計	0	計	0	計	0	計	0
計		0		0		0		0		0

表 II-36 : 物理学科卒業生数の推移

年度	2019		2020		2021		2022		2023	
	入学 年度	卒業 者数	入学 年度	卒業 者数	入学 年度	卒業 者数	入学 年度	卒業 者数	入学 年度	卒業 者数
学部 3月 卒業生			2013	1						
	2014	1								
	2015	3	2015	1	2015	1				
	2016	32	2016	2	2016	1				
			2017	27	2017	5	2017	1		
					2018	24	2018	4	2018	2
							2019	25	2019	4
									2020	31
	計	36	計	31	計	31	計	30	計	37
3年次 編入生 3月 卒業生	2018	3	2018	1						
			2019	7						
					2020	6				
							2021	5		
	計	3	計	8	計	6	計	5	計	4
計		39		39		37		35		41
学部 9月 卒業生										
	計	0	計	0	計	0	計	0	計	2
3年次 編入生 9月 卒業生										
	計	0	計	0	計	0	計	0	計	0
計		0		0		0		0		2

表 II-37 : 化学科卒業生数の推移

年度	2019		2020		2021		2022		2023	
	入学 年度	卒業 者数	入学 年度	卒業 者数	入学 年度	卒業 者数	入学 年度	卒業 者数	入学 年度	卒業 者数
学部 3 月 卒業生			2014	1						
					2015	1				
	2016	21	2016	2	2016	1				
			2017	24	2017	2	2017	1		
					2018	25	2018	2		
							2019	29	2019	1
									2020	27
	計	21	計	27	計	29	計	32	計	28
3 年次 編入生 3 月 卒業生	2018	5	2018	1						
			2019	7						
					2020	4				
							2021	5		
									2022	4
	計	5	計	8	計	4	計	5	計	4
計		26		35		33		37		32
学部 9 月 卒業生					2013	1				
					2016	1				
					2017	1				
	計	0	計	0	計	3	計	0	計	0
3 年次 編入生 9 月 卒業生										
	計	0	計	0	計	0	計	0	計	0
計		0		0		3		0		0

表 II-38 : 生物学科卒業生数の推移

年度	2019		2020		2021		2022		2023	
	入学 年度	卒業 者数	入学 年度	卒業 者数	入学 年度	卒業 者数	入学 年度	卒業 者数	入学 年度	卒業 者数
学部 3 月 卒業生	2014	1								
	2015	3								
	2016	19	2016	3						
			2017	23			2017	1		
					2018	25				
							2019	22		
									2020	22
	計	23	計	26	計	25	計	23	計	22
3 年次 編入生 3 月 卒業生	2018	6								
			2019	5						
					2020	6				
							2021	5		
									2022	4
	計	6	計	5	計	6	計	5	計	4
計		29		31		31		28		26
学部 9 月 卒業生									2019	1
	計	0	計	0	計	0	計	0	計	1
3 年次 編入生 9 月 卒業生										
	計	0	計	0	計	0	計	0	計	0
計		0		0		0		0		1

表 II-39 : 惑星学科卒業生数の推移

年度	2019		2020		2021		2022		2023	
	入学 年度	卒業 者数	入学 年度	卒業 者数	入学 年度	卒業 者数	入学 年度	卒業 者数	入学 年度	卒業 者数
学部 3月 卒業生	2015	3	2015	1						
	2016	32	2016	3						
			2017	29	2017	1				
					2018	31	2018	1	2018	1
							2019	35	2019	1
									2020	31
	計	35	計	33	計	32	計	36	計	33
3年次 編入生 3月 卒業生	2017	1								
	2018	3								
			2019	2						
					2020	3				
							2021	1		
									2022	2
	計	4	計	2	計	3	計	1	計	2
計		39		35		35		37		35
学部 9月 卒業生										
	計	0	計	0	計	0	計	0	計	0
3年次 編入生 9月 卒業生										
							2020	1		
	計	0	計	0	計	0	計	1	計	0
計		0		0		0		1		0

表 II-40 : 理学研究科博士課程前期課程修了生数の推移

年度	2019		2020		2021		2022		2023	
	入学 年度	修了 者数	入学 年度	修了 者数	入学 年度	修了 者数	入学 年度	修了 者数	入学 年度	修了 者数
3 月 修了生	2016	1								
	2017	2	2017	1						
	2018	128	2018	3						
			2019	105	2019	5				
					2020	102	2020	1	2020	1
							2021	94	2021	4
									2022	113
	計	131	計	109	計	107	計	95	計	118
9 月 修了生	2017	4								
			2018	2						
					2019	3				
							2020	3		
									2021	3
	計	4	計	2	計	3	計	3	計	3

表 II-41 : 数学専攻博士課程前期課程修了生数の推移

年度	2019		2020		2021		2022		2023	
	入学 年度	修了 者数	入学 年度	修了 者数	入学 年度	修了 者数	入学 年度	修了 者数	入学 年度	修了 者数
3 月 修了生	2018	22								
			2019	17	2019	2				
					2020	17				
							2021	16		
									2022	23
	計	22	計	17	計	19	計	16	計	23
9 月 修了生										
	計	0	計	0	計	0	計	0	計	0

表 II-42 : 物理学専攻博士課程前期課程修了生数の推移

年度	2019		2020		2021		2022		2023	
	入学 年度	修了 者数	入学 年度	修了 者数	入学 年度	修了 者数	入学 年度	修了 者数	入学 年度	修了 者数
3 月 修了生	2018	25	2018	3						
			2019	18	2019	1				
					2020	23			2020	1
							2021	19	2021	1
									2022	22
	計	25	計	21	計	24	計	19	計	24
9 月 修了生										
	計	0	計	0	計	0	計	0	計	0

表 II-43 : 化学専攻博士課程前期課程修了生数の推移

年度	2019		2020		2021		2022		2023	
	入学 年度	修了 者数	入学 年度	修了 者数	入学 年度	修了 者数	入学 年度	修了 者数	入学 年度	修了 者数
3 月 修了生	2016	1								
			2017	1						
	2018	32								
			2019	30	2019	1				
					2020	20	2020	1		
							2021	23	2021	1
									2022	24
	計	33	計	31	計	21	計	24	計	25
9 月 修了生	2017	4								
			2018	2						
					2019	2				
							2020	3		
									2021	2
	計	4	計	2	計	2	計	3	計	2

表 II-44 : 生物学専攻博士課程前期課程修了生数の推移

年度	2019		2020		2021		2022		2023	
	入学 年度	修了 者数	入学 年度	修了 者数	入学 年度	修了 者数	入学 年度	修了 者数	入学 年度	修了 者数
3 月 修了生	2017	1								
	2018	26								
			2019	22						
					2020	25				
							2021	20	2021	2
									2022	23
	計	27	計	22	計	25	計	20	計	25
9 月 修了生										
	計	0	計	0	計	0	計	0	計	0

表 II-45 : 惑星学専攻博士課程前期課程修了生数の推移

年度	2019		2020		2021		2022		2023	
	入学 年度	修了 者数	入学 年度	修了 者数	入学 年度	修了 者数	入学 年度	修了 者数	入学 年度	修了 者数
3 月 修了生	2017	1								
	2018	23								
			2019	18	2019	1				
					2020	17				
							2021	16		
									2022	21
	計	22	計	24	計	18	計	18	計	21
9 月 修了生					2019	1				
									2021	1
	計	0	計	0	計	1	計	0	計	1

表 II-46 : 理学研究科博士課程後期課程学位授与状況

年度	2019		2020		2021		2022		2023	
	入学 年度	修了 者数	入学 年度	修了 者数	入学 年度	修了 者数	入学 年度	修了 者数	入学 年度	修了 者数
3 月 修了生	2015	12								
			2016	8						
	2017	2			2017	4				
			2018	1						
					2019	4	2019	2	2019	1
							2020	8	2020	3
									2021	15
	計	14	計	9	計	8	計	10	計	19
9 月 修了生					2013	1				
	2014	1								
					2015	1				
	2016	1			2016	3	2016	1		
			2017	1						
							2019	3		
	計	2	計	1	計	5	計	4	計	0

理学研究科博士学位取得後の進路は表 II-47 のようになっている。

表 II-47 : 博士学位取得者の進路（2023 年度）

職種	人数	職種	人数
企 業	6	神戸大学大学院 理学研究科研究員	4
教 員	2	その他	7

論文博士による学位取得者数を表 II-48 に示す。

表 II-48 : 論文博士学位取得者

年 度	取得者
2019	3
2020	2
2021	0
2022	1
2023	1

II-6-3 TA、RA の採用状況

2023 年度の大学院理学研究科大学院生の TA および RA への採用状況を表 II-49 に示す。

表 II-49 : TA および RA の採用人数

	数学専攻	物理学専攻	化学専攻	生物学専攻	惑星学専攻	計
SA/TA/STA	19	44	51	54	39	207
RA	3	2	7	2	0	14

II-6-4 PD、DC の採用状況

2023 年度に、日本学術振興会特別研究員 (PD/RPD および DC) として大学院理学研究科に採用 (継続・転入含む) された人数を表 II-50 に示す。

表 II-50 : 学振 PD/RPD および DC の採用数 (2023 年度)

領 域 別	PD/RPD	DC	計
数学専攻	0	1	1
物理学専攻	1	4	5
化学専攻	0	1	1
生物学専攻	2	1	3
惑星学専攻	0	3	3
計	3	10	13

学術振興会以外の研究員等として理学系で採用したものの数を表 II-51 に示す。

表 II-51 : その他研究員等の採用 (2023 年度)

職 種	摘 要	人 数
講師 (研究機関研究員)	分子フォトサイエンス研究センター	0
	内海域環境教育研究センター	0
学術研究員		14

II-6-5 ディプロマ・ポリシー達成度アンケート

学部卒業生、大学院博士課程前期課程、および博士課程後期課程修了生に対して行ったディプロマ・ポリシー (DP) 達成度アンケートについて内容と結果を示す。

2022 年度までは、学部卒業生については web 方式により、大学院修了生については紙媒体によるアンケート調査を行っていたが、2023 年度から卒業・修了時アンケートとして、全面的に web 方式による実施となった。そのアンケート結果を以下の表に示す。

【理学部】

問 1 あなたは、理学部各学科のディプロマ・ポリシー (DP) を知っていますか。

選択肢： 1. よく知っていた / 2. ある程度知っていた / 3. どちらともいえない /
4. あまり知らなかった / 5. 全く知らなかった

問2 理学部各学科の DP に基づいてお尋ねします。あなたは、（数学の基礎・物理学の基礎・化学の基礎・生物学の基礎・惑星学に必要な基礎）を理解し応用する能力がどの程度身についたと思いますか。（ ）内は学科名に対応する）

問3 <数学科>理学部各学科の DP に基づいてお尋ねします。あなたは、数学の中核を理解し応用する能力がどの程度身についたと思いますか。

<物理学科・化学科>理学部各学科の DP に基づいてお尋ねします。あなたは、物質の構造および機能を理解する能力がどの程度身についたと思いますか。

<生物学科>理学部各学科の DP に基づいてお尋ねします。あなたは、すべての生物に共通する生命の仕組み及び生物界の多様性の成り立ちを理解する能力がどの程度身についたと思いますか。

<惑星学科>理学部各学科の DP に基づいてお尋ねします。あなたは、地球及び太陽系・宇宙の諸現象を理解する能力がどの程度身についたと思いますか。

問4 理学部各学科の DP に基づいてお尋ねします。あなたは、（現代数学・現代物理学・現代化学・現代生物学・地球及び太陽系・宇宙を包括する惑星学）を理解する能力がどの程度身についたと思いますか。（ ）内は学科名に対応する）

問5 <物理学科・化学科・生物学科>理学部各学科の DP に基づいてお尋ねします。あなたは、（物理学・化学・生物学）の実験手法を応用する能力がどの程度身についたと思いますか。（ ）内は学科名に対応する）

<惑星学科>理学部各学科の DP に基づいてお尋ねします。あなたは、惑星学の実験、観測および調査手法を理解し応用する能力がどの程度身についたと思いますか。

問6 理学部各学科の DP に基づいてお尋ねします。あなたは、自ら課題を設定し、課題を創造的に解決する能力がどの程度身についたと思いますか。

問2～6 選択肢： 1. 大いに身についた / 2. どちらかといえば身についた / 3. どちらともいえない / 4. どちらかといえば身についていない / 5. 全く身につかなかった

問7 理学部の学生には、公用掲示板を常に注意して掲示の事項を確認することが求められています。現在、公用掲示板は、B 棟 2 階と Z 棟 1 階に設置しており大学での確認が必須となっていますが、将来的にこの公用掲示板をうりぼーネット掲示板などに変更し

て、ネットワーク経由で読めるように電子化する検討をしています。この掲示板的電子化についてどのように思いますか。

選択肢： 1. 公用掲示板的電子化は進めた方がよい / 2. 現在の B 棟 2 階と Z 棟 1 階の公用掲示板上で十分 / 3. どちらでもよい。特に意見無し

【理学研究科】

問 1 あなたは、理学部各学科のディプロマ・ポリシー（DP）を知っていますか。

選択肢： 1. よく知っていた / 2. ある程度知っていた / 3. どちらともいえない / 4. あまり知らなかった / 5. 全く知らなかった

問 2 理学研究科各専攻の DP に基づいてお尋ねします。あなたは、研究成果発信のための英語能力がどの程度身についたと思いますか。

問 3 理学研究科各専攻の DP に基づいてお尋ねします。あなたは、学際的視野に基づいた創造的な研究能力がどの程度身についたと思いますか。

問 4 <数学専攻>理学研究科各専攻の DP に基づいてお尋ねします。あなたは、高度な数学の全般に深い知識を持ち、その相関を理解する能力がどの程度身についたと思いますか。

<物理学・化学専攻>理学研究科各専攻の DP に基づいてお尋ねします。あなたは、物質の構造及び機能を根本原理から理解する能力がどの程度身についたと思いますか。

<生物学専攻>理学研究科各専攻の DP に基づいてお尋ねします。あなたは、全ての生物に共通する生命の仕組み及び生物界の多様性の成り立ちを根本原理から理解する能力がどの程度身についたと思いますか。

<惑星学専攻>理学研究科各専攻の DP に基づいてお尋ねします。あなたは、地球及び太陽系・宇宙の諸現象を根本原理から理解する能力がどの程度身についたと思いますか。

問 5 理学研究科各専攻の DP に基づいてお尋ねします。あなたは、（数学・物理学・化学・生物学・惑星学）の各研究分野に関連した（基礎・高度）な能力、及びそれを研究に応用する能力がどの程度身についたと思いますか。（前期課程：基礎能力、後期課程：高度な能力（）内は専攻名に対応する）

問 6 理学研究科各専攻の DP に基づいてお尋ねします。あなたは、（現代数学・現代物理学・現代化学・現代生物学・惑星学）の広範な研究分野を俯瞰する（俯瞰し、新たな研究課題の着想に活かす）能力がどの程度身についたと思いますか。（「俯瞰し、新たな研究課題の着想に活かす」は後期課程のみ、（）内は専攻名に対応する）

問 7 <大学院博士課程前期課程>理学研究科各専攻の DP に基づいてお尋ねします。あなたは、(数学・物理学・化学・生物学・惑星学)を深く探究するための基礎となる能力がどの程度身についたと思いますか。()内は専攻名に対応する)

<大学院博士課程後期課程>理学研究科各専攻の DP に基づいてお尋ねします。あなたは、(数学・物理学・化学・生物学・惑星学)の研究を自立して行うための能力がどの程度身についたと思いますか。()内は専攻名に対応する)

問 2～7 選択肢： 1.大いに身についた / 2.どちらかといえば身についた / 3.どちらともいえない / 4.どちらかといえば身についていない / 5.全く身につかなかった

問 8 <大学院博士課程前期課程>科学英語科目 (研究成果発信のための英語能力の向上)が、あなたの知識の習得に関してどの程度役に立ったと思いますか。

問 9 <大学院博士課程前期課程>特別講義科目 (現代数学・現代物理学・現代化学・現代生物学・惑星学)の広範な研究分野を俯瞰する能力の向上が、あなたの知識の習得に関してどの程度役に立ったと思いますか。()内は専攻名に対応する)

問 10 <大学院博士課程前期課程>論文講究及び特定研究科目((数学・物理学・化学・生物学・惑星学)を深く探究するための基礎能力の向上)が、あなたの知識の習得に関してどの程度役に立ったと思いますか。()内は専攻名に対応する)

問 11 <大学院博士課程前期課程>コア授業科目という教育システム (専攻内の分野の枠を超えた専門的知識の習得)が、あなたの知識の習得に関してどの程度役に立ったと思いますか。

問 12 <大学院博士課程前期課程>先端融合科学特論 B (理学)などの専攻共通科目 (幅広い自然科学の知識の習得)が、あなたの知識の習得に関してどの程度役に立ったと思いますか。

問 8～12 選択肢： 1.大いに役に立った / 2.役に立った / 3.ある程度役に立った / 4.役に立たなかった / 5.わからない / 6.未履修

問 13 理学研究科の学生には、公用掲示板を常に注意して掲示の事項を確認することが求められています。現在、公用掲示板は、B 棟 2 階と Z 棟 1 階に設置してあり大学での確認が必須となっていますが、将来的にこの公用掲示板をうりぼーネット掲示板などに

変更して、ネットワーク経由で読めるように電子化する検討をしています。この掲示板の電子化についてどのように思いますか。

選択肢： 1.公用掲示板の電子化は進めた方がよい / 2.現在の B 棟 2 階と Z 棟 1 階の公用掲示板で十分 / 3.どちらでもよい。特に意見無し

表 II-52：理学部 2023 年度 学部卒業生 DP 達成度アンケート結果
(回答数:189 名)

	1)	2)	3)	4)	5)	6)	7)
1	14	35	35	26	34	32	137
2	35	90	96	103	74	90	9
3	35	45	34	35	26	43	43
4	43	9	16	16	6	13	—
5	62	10	8	9	7	11	—

表 II-53：理学研究科 2023 年度 大学院博士課程前期課程修了生 DP 達成度アンケート結果
(回答数:118 名)

	1)	2)	3)	4)	5)	6)	7)	8)	9)	10)	11)	12)	13)
1	10	18	29	34	34	23	39	18	19	6	0	32	88
2	28	41	54	61	61	65	61	34	33	2	3	21	4
3	20	32	21	11	8	16	6	28	45	49	3	1	18
4	24	15	4	3	6	3	2	2	23	45	25	8	—
5	28	4	2	1	1	3	2	9	1	10	35	23	—

表 II-54：理学研究科 2023 年度 大学院博士課程後期課程修了生 DP 達成度アンケート結果
(回答数:19 名、うち博士(理学)19 名、博士(学術)0 名)

	1)	2)	3)	4)	5)	6)	7)	8)	9)	10)	11)	12)	13)
1	1	6	6	10	8	8	8	—	—	—	—	—	15
2	6	10	9	7	7	6	9	—	—	—	—	—	2
3	3	3	4	2	4	4	2	—	—	—	—	—	2
4	3	0	0	0	0	1	0	—	—	—	—	—	—
5	6	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—

II-6-6 プログラム教育コースアンケート

各プログラム教育コースの受講者に対して行ったアンケートについて、環境・化学プログラム教育コースアンケートの設問項目の内容と結果を示す。

問1 あなたは、本コースを履修して、次の能力等(①～⑤)がどの程度身についたと思いますか。

- ① 環境学と化学の関係を説明する能力
- ② 環境学を化学にもとづいて理解する能力
- ③ 化学を環境学に応用する能力
- ④ 化学と環境学を幅広く理解する能力
- ⑤ 高度専門職に必要な学際的視点

選択肢: 1.大いに身についた / 2.どちらかといえば身についた / 3.どちらともいえない / 4.どちらかといえば身につけていない / 5.全く身につけなかった

問2 本コースに関する満足度について、次の中から1つ選択してください。

- ① 本コースを履修して、どの程度満足しているか。

選択肢: 1.大いに満足している / 2.どちらかといえば満足している / 3.どちらともいえない / 4.どちらかといえば満足していない / 5.全く満足していない

表 II-55 : 理学研究科 2023 年度 環境・化学プログラム教育コースアンケート結果
(回答数:1 名)

	1- ①	1- ②	1- ③	1- ④	1- ⑤	2
1	1	1	1	1	1	1
2	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0
4	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0

なお、他のプログラム教育コースについては、2023 年度の回答対象者はいなかった。

II-6-7 OB・OG 合同会社説明会卒業生アンケート

就職支援の一環として行っている OB・OG 合同会社説明会において、企業から参加している本学部・研究科の卒業生・修了生に対してアンケートを実施し、神戸大学理学部・理学研究科における教育成果について再点検している。教育成果に関する調査は全学において卒業時においても行っているが、企業で現場の経験を積んだ後にあらためて大学教育について再評価してもらうことは、実社会と大学教育をシームレスに繋げて行く上で非常に重要である。

新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年度と2021年度のOB・OG合同会社説明会の開催は中止となった。2022年度は2月20日に、3月からの本格的な就職活動シーズンを前にした「理学系OB・OGとの交流会」を開催した。2023年度はさらに時期を早めて12月15日に開催した。実施したアンケート結果を表II-56に示す。

問1では、卒業・修了研究やゼミ・研究室に所属して行った教育・研究活動が現在の仕事に役立っていると回答した人が多く、理学研究科の小人数教育が効果的に機能していることを示している。問2では、専門的知識、コミュニケーション能力、問題発見能力、問題解決能などのスキルが現在の仕事に役立っていると回答した人が多く、問1で高い評価を得た教育・研究活動を通して必要なスキルが効果的に身につけていることを示している。一方、問3では、プレゼンテーション能力について不足していると感じる人が最も多く、次いで英語等の語学力、専門的知識、ITスキルの不足、と続いており、今後のカリキュラム改訂において力点を置くべき課題であることがわかった。

表 II-56：2023 年度 理学系 OB・OG との交流会卒業生アンケート集計

(21 名回答;内、1 名は神戸大学の他学部・他研究科の OB/OG であり、20 名分を集計)

問 1.	学部または大学院における次の活動を通じて得られた知識・スキルは、現在の仕事にどの程度役立っていますか。	1 位(名)	ポイント点数(数値が小さい程、役立つ度合いが高い)
	1. 教養教育を受けたこと	3	2.32
	2. 専門教育を受けたこと	1	1.64
	3. 外国語教育を受けたこと	1	2.40
	4. 卒業・修了研究を行ったこと	8	1.40
	5. ゼミ・研究室に所属したこと	0	1.48
	6. 指導教官(教員)から直接指導を受けたこと	8	1.44
	7. 学生同士の勉強会・研究会に参加したこと	0	2.18
	8. 先輩から教育・研究上の指導を受けたこと	0	1.71
	9. クラブ・サークル等に参加したこと	1	2.26
	10. 学会や学外の研究会等に参加したこと	2	1.64
	11. プロジェクト研究、共同研究を行ったこと	0	1.88
	12. TA (ティーチング・アシスタント)・RA(リサーチ・アシスタント)の仕事を行ったこと	0	2.32
	13. 社会活動(ボランティア等)に参加したこと	0	2.77
問 2.	学部または大学院で身に付けた知識・スキルの中で、現在の仕事に役に立っていると思われるも上位から3つ	1 位(名)	上位3つ合計(名)
	1. 専門的な知識	8	14
	2. 幅広い教養	1	5

	3. リーダーシップ	1	2
	4. コミュニケーション能力	6	12
	5. 問題発見能力	5	15
	6. 問題解決能力	3	15
	7. プレゼンテーション能力	1	5
	8. 英語等の語学力	0	3
	9. IT スキル	0	4
	10. その他	0	0
問 3.	現在の仕事に役立てるために、学部または大学院でもっと身に付けておくべきだったと思われるも上位から3つ	1位(名)	上位3つ合計 (名)
	1. 専門的な知識	3	10
	2. 幅広い教養	1	4
	3. リーダーシップ	3	6
	4. コミュニケーション能力	1	3
	5. 問題発見能力	3	6
	6. 問題解決能力	0	5
	7. プレゼンテーション能力	3	13
	8. 英語等の語学力	8	12
	9. IT スキル	2	10
	10. その他	0	0
問 4.	あなたは神戸大学在学時に、施設・設備、教育環境に満足していましたか。	(名)	
	1. 大いに満足していた	12	
	2. ある程度満足していた	13	
	3. どちらともいえない	0	
	4. あまり満足していなかった	0	
	5. 全く満足していなかった	0	
問 5.	神戸大学の特に優れている点	(名)	
	1. 「真摯・自由・協同」の学風	5	
	2. 国際性の重視	3	
	3. 研究の重視	15	
	4. フィールドワーク・実学・実験の重視	9	
	5. 学際領域の開拓	4	
	6. 地域・社会との連携	0	
	7. その他	0	

問 6.	卒業(修了)したことに満足されていますか	(名)
	1. 大いに満足している	15
	2. ある程度満足している	10
	3. どちらともいえない	0
	4. あまり満足していない	0
	5. 全く満足していない	0

II-7 留学生の受け入れ状況

2023 年度の理学部ならびに大学院理学研究科への外国人留学生の受け入れ状況を表 II-57 から表 II-59 に示す。

表 II-57 : 学部留学生数 (2023 年度)

学 科	5 月 1 日現在		10 月 1 日現在	
	正規生	研究生	正規生	研究生
数学科	2	0	2	0
物理学科	2	0	1	0
化学科	2	0	2	0
生物学科	1	0	1	0
惑星学科	0	0	0	0
合 計	7	0	6	0

【国籍(内訳)】 数 学 科：カンボジア(1) タイ(1)
物理学科：ブラジル(1) エルサルバドル(1)
化 学 科：中国(1) エルサルバドル(1)
生物学科：ルーマニア(1)

表 II-58 : 大学院前期課程留学生数 (2023 年度)

専 攻	5 月 1 日現在		10 月 1 日現在	
	正規生	研究生	正規生	研究生
数 学	1	2	1	2
物理学	2	2	3	1
化 学	5	6	7	5
生物学	1	2	1	0
惑星学	1	1	1	2
合 計	10	13	13	10

【国籍(内訳)】 数学専攻：中国(2) ネパール(1)
物理学専攻：中国(3) 韓国(1)
化学専攻：中国(12)
生物学専攻：中国(3)
惑星学専攻：中国(3)

表 II-59 : 大学院後期課程留学生数 (2023 年度)

専 攻	5 月 1 日現在		10 月 1 日現在	
	正規生	研究生	正規生	研究生
数 学	1	0	1	0
物理学	1	0	1	0
化 学	6	0	5	0
生物学	3	0	3	0
惑星学	1	0	1	0
合 計	12	0	11	0

【国籍(内訳)】 数学専攻：中国(1)

物理学専攻：中国(1)

化学専攻：中国(4) フィリピン(1) ヨルダン(1)

生物学専攻：中国(1) インド(2)

惑星学専攻：中国(1)

III. 研究活動

III-1 研究資金の状況

理学系の各領域ではそれぞれ多様な研究が遂行されており、同時に、それらの研究の遂行を通じて大学院レベルでの教育が行われている。遂行されている研究の詳細については各領域毎の年次報告にまとめられているので、ここでは、それぞれの領域での研究の遂行に必要な研究資金の状況について、表Ⅲ-1 から表Ⅲ-11 に科学研究費の申請・獲得状況の詳細をはじめ、外部機関からの奨学寄附金や外部機関との共同研究・受託研究の現状、表Ⅲ-12 に運営交付金等予算の推移をまとめる。なお、申請から採択までに教員の異動があるため、申請件数に対応する採択件数にはなっていない場合がある。

表 III-1：2023 年度 科学研究費助成事業のまとめ

研究科全体

種 目	申請件数 (新規)	申請件数 (継続)	採択件数 (新規+継続)	採択金額 (千円)
学術変革領域研究(A) (計画研究)	3	1	1	20,800
学術変革領域研究(A) (公募研究)	6	1	4	9,100
新学術領域研究(研究領域提案型)(計画研究)	－	2	2	47,900
新学術領域研究(研究領域提案型)(公募研究)	－	2	2	5,400
基盤研究(S)	0	1	1	28,300
基盤研究(A)	1	6	6	28,400
基盤研究(B)	12	16	19	61,300
基盤研究(C)	17	21	27	23,800
挑戦的研究(開拓)	4	2	2	9,900
挑戦的研究(萌芽)	13	5	6	10,400
若手研究	5	6	7	6,000
研究活動スタート支援	1	0	0	0
国際共同研究加速基金(国際共同研究強化) (旧 A)	1	0	0	0
国際共同研究加速基金(国際共同研究強化 (B))	0	1	1	2,600
国際共同研究加速基金(海外連携研究)	3	0	0	0
合計	66	64	78	253,900

* 採択金額は直接経費総額

表 III-2：2023 年度 理学研究科奨学寄附金の受け入れのまとめ

年度	受入件数(件)	受入金額(千円)	備考
2023	50	61,620	

* 兼務教員を含む

表 III-3：2023 年度 理学研究科産学連携等研究費のまとめ

項 目	受入件数(件)	受入金額(千円)	備考
受託研究	15	188,743	
共同研究	21	74,290	
その他(補助金等)	12	282,589	
合 計	48	545,621	

* 兼務教員を含む

表 III-4：数学専攻 2023 年度 科学研究費助成事業申請件数、採択件数及び採択金額

種 目	申請件数 (新規)	申請件数 (継続)	採択件数 (新規+継続)	採択金額 (千円)
基盤研究(B)	2	2	2	4,500
基盤研究(C)	3	9	12	9,600
国際共同研究加速基金(国際共同 研究強化)(旧 A)	1	0	0	0
国際共同研究加速基金(国際共同 研究強化(B))	0	1	1	2,600
国際共同研究加速基金(海外連携 研究)	1	0	0	0
若手研究	2	2	3	2,500
挑戦的研究(萌芽)	0	1	1	1,700
合計	9	15	19	20,900

* 採択金額は直接経費総額

表 III-5：物理学専攻 2023 年度 科学研究費助成事業申請件数、採択件数及び採択金額

種 目	申請件数 (新規)	申請件数 (継続)	採択件数 (新規＋継続)	採択金額 (千円)
学術変革領域研究(A)(公募研究)	2	0	1	1,000
新学術領域研究(研究領域提案型)(計画研究)	0	1	1	28,500
新学術領域研究(研究領域提案型)(公募研究)	0	1	1	2,500
基盤研究(A)	1	1	1	4,000
基盤研究(B)	1	3	3	10,500
基盤研究(C)	4	3	5	4,800
挑戦的研究(萌芽)	5	0	0	0
若手研究	0	1	1	500
国際共同研究加速基金(海外連携研究)	1	0	0	0
合計	14	10	13	51,800

*採択金額は直接経費総額

表 III-6：化学専攻 2023 年度 科学研究費助成事業申請件数、採択件数及び採択金額

種 目	申請件数 (新規)	申請件数 (継続)	採択件数 (新規＋継続)	採択金額 (千円)
学術変革領域研究(A)(計画研究)	0	1	1	20,800
学術変革領域研究(A)(公募研究)	2	0	2	5,100
基盤研究(A)	0	1	1	7,300
基盤研究(B)	3	4	4	8,100
基盤研究(C)	3	3	3	2,200
挑戦的研究(開拓)	2	0	0	0
挑戦的研究(萌芽)	4	2	2	3,000
若手研究	1	0	0	0
国際共同研究加速基金(海外連携研究)	1	0	0	0
合計	16	11	13	46,500

*採択金額は直接経費総額

表 III-7：生物学専攻 2023 年度 科学研究費助成事業申請件数、採択件数及び採択金額

種 目	申請件数 (新規)	申請件数 (継続)	採択件数 (新規+継続)	採択金額 (千円)
学術変革領域研究(A) (計画研究)	3	0	0	0
学術変革領域研究(A) (公募研究)	2	1	1	3,000
新学術領域研究(研究領域提案型) (計画研究)	0	1	1	19,400
新学術領域研究(研究領域提案型) (公募研究)	0	1	1	2,900
基盤研究(A)	0	1	1	6,300
基盤研究(B)	4	4	6	22,700
基盤研究(C)	2	4	4	3,800
若手研究	1	2	2	2,600
挑戦的研究(開拓)	1	0	0	0
挑戦的研究(萌芽)	3	1	2	4,600
合計	16	15	18	65,300

*採択金額は直接経費総額

表 III-8：惑星学専攻 2023 年度 科学研究費助成事業申請件数、採択件数及び採択金額

種 目	申請件数 (新規)	申請件数 (継続)	採択件数 (新規+継続)	採択金額 (千円)
基盤研究(S)	0	1	1	28,300
基盤研究(A)	0	3	3	10,800
基盤研究(B)	2	3	4	15,500
基盤研究(C)	5	2	3	3,400
挑戦的研究(開拓)	1	2	2	9,900
挑戦的研究(萌芽)	1	1	1	1,100
若手研究	1	1	1	400
研究活動スタート支援	1	0	0	0
合計	11	13	15	69,400

*採択金額は直接経費総額

表 III-9：2023 年度 受託研究契約一覧

研究題目	契約金額 (千円)	研究依頼者	研究代表者		直接経費 (円)	間接経費 (円)
モデリング・シミュレーションのための計算代数	14,128	国立研究開発法人科学技術振興機構	数学専攻	高山 信毅	10,868,000	3,260,400
幾何学的離散力学を核とする構造保存的システムモデリング・シミュレーション基盤	35,272	国立研究開発法人科学技術振興機構	数学専攻	谷口 隆晴	27,132,000	8,139,600
深層科学技術計算: 数理科学を基盤とする物理構造と深層学習の融合	1,300	国立研究開発法人科学技術振興機構	数学専攻	谷口 隆晴	1,000,000	300,000
乳がんを有する成人女性及び健康成人女性を対象とした乳房用マイクロ波画像診断装置 IGS-0001 の有効性及び安全性を検討する単施設評価者盲検試験	20,410	株式会社 Integral Geometry Science	化学専攻	木村 建次郎	15,700,000	4,710,000
食用および機能性ゼニゴケ品種と栽培システムの開発	1,430	学校法人近畿大学	生物学専攻	石崎 公庸	1,100,000	330,000
核ゲノム改変によるゼニゴケものづくり基盤の構築	46,800	国立研究開発法人科学技術振興機構	生物学専攻	石崎 公庸	36,000,000	10,800,000
情報分子が拓く植物による菌根菌への寄生能力獲得と制御	13,650	国立研究開発法人科学技術振興機構	生物学専攻	末次 健司	10,500,000	3,150,000
内的・外的要因による植物幹細胞運命制御網の解明	9,100	国立研究開発法人科学技術振興機構	生物学専攻	近藤 侑貴	7,000,000	2,100,000
生物多様性に関する新分野「多様性輪環学」の創成	12,123	国立研究開発法人科学技術振興機構	生物学専攻	辻 かおる	9,325,000	2,797,500
project DEEPMAYMT	6,080	Office of Geological and	惑星学専攻	島 伸和	6,080,000	0

		Mining Research				
「地球」流体力学から惑星流体力学へ	6,500	国立研究開発法人科学技術振興機構	惑星学専攻	檜村 博基	5,000,000	1,500,000
電子スピン共鳴法によるスピン超偏極機構の解明	5,850	国立研究開発法人科学技術振興機構	分子フォトサイエンス研究センター	小堀 康博	4,500,000	1,350,000
「モニタリングサイト 1000 藻場調査」に係る調査	400	特定非営利活動法人日本国際湿地保全連合	内海域環境教育研究センター	上井 進也	307,692	92,308
メダカを用いた甲状腺ホルモンかく乱物質の検出試験法の開発	5,700	独立行政法人環境再生保全機構	内海域環境教育研究センター	堀江 好文	4,385,000	1,315,000
閉鎖性海域大阪湾をモデルにした MP の生態リスク評価	10,000	一般社団法人日本科学工業協会	内海域環境教育研究センター	堀江 好文	7,692,307	2,307,693

2023 年度合計 15 件 188,743 千円

表 III-10 : 2023 年度 共同研究契約一覧

研究題目	契約金額 (千円)	研究依頼者	研究代表者		直接経費 (円)	間接経費 (円)
物理シミュレーションのための機械学習の研究	1,000	日本電信電話株式会社	数学専攻	谷口 隆晴	769,230	230,770
エネルギー遷移に着目した力学モデルによるピアノ楽音合成法	1,248	株式会社河合楽器製作所	数学専攻	谷口 隆晴	960,000	288,000
深層学習を活用したサブグリッドスケール乱流に対する数値計算法の研究開発	2,200	日本電信電話株式会社	数学専攻	谷口 隆晴	1,692,307	507,693
核酸連続生産装置の開発	3,250	株式会社ナティアス	化学専攻	松原 亮介	2,500,000	750,000
二酸化炭素の有用化合物・素材への精密分子変換を光反応で可能にする高機能性触媒の開発	4,900	トヨタ自動車株式会社	化学専攻	松原 亮介	3,769,000	1,130,700

電解槽電極の電流分布計測技術の開発	2,000	旭化成株式会社	化学専攻	木村 建次郎	1,538,461	461,539
新デザインペプチドを用いたデバイス研究3	7,020	株式会社村田製作所	化学専攻	田村 厚夫	5,400,000	1,620,000
光オン・デマンド合成法を用いたセルロース系新規素材の開発に関する研究	2,860	日本製紙株式会社	化学専攻	津田 明彦	2,200,000	660,000
蛍光寿命測定によるアミロイド構造の識別	1,000	浜松ホトニクス株式会社	化学専攻	茶谷 絵理	769,000	231,000
ゼニゴケ変異体を用いた除草剤作用機構解析	1,495	住友化学株式会社	生物学専攻	石崎 公庸	1,150,000	345,000
マヤランの保全に係る株移植、無菌苗培養、野外播種試験	240	株式会社ラーゴ	生物学専攻	末次 健司	200,000	40,000
月面車隕石防護用素材・構造評価	1,170	トヨタ自動車株式会社	惑星学専攻	荒川 政彦	900,000	270,000
AI 向けプロセッサ上での高性能 HPC アプリケーション・アプリケーションフレームワークの開発	2,000	株式会社 Preferred Networks	惑星学専攻	牧野 淳一郎	1,538,461	461,539
CPS と推進する惑星科学研究における新グループ形成	4,000	大学共同利用機関法人自然科学研究機構	惑星学専攻	牧野 淳一郎	4,000,000	0
惑星計算学習講座	9,207	株式会社 Preferred Networks	惑星学専攻	牧野 淳一郎	7,083,000	2,124,000
パッシブ型水素生成材料の開発	1,500	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構	分子フォトサイエンス研究センター	立川 貴士	1,363,637	136,363
パッシブ型水素生成材料の開発(その2)	9,000	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構	分子フォトサイエンス研究センター	立川 貴士	8,181,819	818,181
誘電体セラミックスメソ結晶の開発と次世代電子デバイスへの応用(光触媒に関する応用は除く)	10,000	太陽誘電株式会社	分子フォトサイエンス研究センター	立川 貴士	7,692,300	2,307,700

パンプ型水素生成材料の酸化還元反応効率向上の研究	7,700	パナソニックホールディングス株式会社	分子フォトサイエンス研究センター	立川 貴士	5,923,076	1,776,924
有用褐藻類の分子系統解析	500	理研食品株式会社	内海域環境教育研究センター	上井 進也	384,615	115,385
魚類急性毒性試験における安楽死マニュアルの作成と代替試験の適用範囲の検証及び指針作成	2,000	国立研究開発法人国立環境研究所	内海域環境教育研究センター	堀江 好文	1,539,000	461,000

2023 年度合計 21 件 74,290 千円

表 III-11 : 2023 年度 その他補助金等の受け入れ一覧

研究題目	契約金額 (千円)	研究依頼者	研究代表者		直接経費 (円)	間接経費 (円)
物理シミュレーションの 代替モデル(サロゲート モデル)に係る学術指導	378	三菱重工業 株式会社	数学専攻	谷口 隆晴	290,400	87,120
光オンデマンド合成に関 する技術指導	858	第一工業製 薬株式会社	化学専攻	津田 明彦	660,000	198,000
株式会社シード・ブラン ニング 学術相談	30	株式会社シ ード・ブラン ニング	化学専攻	田村 厚夫	23,076	6,924
宇宙惑星科学分野に関 する学術研究動向	1,560	独立行政法 人日本学術 振興会	惑星学専攻	荒川 政彦	1,200,000	360,000
火山研究人材育成コン ソーシアム構築事業	503	国立大学法 人東北大学	惑星学専攻	金子 克哉	456,900	45,690
「次世代計算基盤に係る 調査研究」(システム調 査研究)	250,500	文部科学省	惑星学専攻	牧野 淳一郎	246,766,487	3,733,513
「富岳」成果創出加速プ ログラム	4,154	文部科学省	惑星学専攻	牧野 淳一郎	3,195,170	958,551
テラヘルツ分子科学アジ ア研究拠点	6,600	独立行政法 人日本学術 振興会	分子フォトサ イエンス研究 センター	富永 圭介	6,600,000	0
超高速レーザー分光に よる深共晶溶媒の動的 挙動と微視的構造に関 する研究	50	独立行政法 人日本学術 振興会	分子フォトサ イエンス研究 センター	富永 圭介	50,000	0
誘電体セラミックスメソ結 晶の開発と次世代電子 デバイスへの応用	10,000	国立研究開 発法人新エ ネルギー・ 産業技術総 合開発機構	分子フォトサ イエンス研究 センター	立川 貴士	7,692,700	2,307,300
海洋人材育成プログラ ム	33	アクトインデ ィ株式会社	内海域環境 教育研究セ ンター	上井 進也	25,384	7,616
藻類リソースの収集・保 存・提供	7,924	文部科学省	内海域環境 教育研究セ ンター	上井 進也	7,924,000	0

2023 年度合計 12 件 282,590 千円

表 III-12：運営費交付金等予算の推移

(単位 千円)

事 項	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
運営基盤経費					
管理運営経費	82,340	81,525	80,128	103,553	106,086
教育経費	19,868	19,941	19,879	13,795	12,693
研究経費	54,856	54,896	54,019	37,288	33,949
小 計	157,064	156,362	154,026	154,636	
事項指定経費					
自動車関係経費	25	25	25	25	25
学生実地指導旅費	170	170	168	166	163
ティーチング・アシスタント経費	4,668	4,610	4,546	4,485	4,405
核燃料物質管理経費	65	64	63	62	61
教育研究設備維持運営費	1,119	647	341	335	330
講師等経費(来校旅費)	7,134	7,045	6,948	6,855	6,733
入学試験経費(個別学力試験)	940	928	915	903	887
教育経費(SRA分)	1,128	1,128	1,128	1,128	1,128
リサーチ・アシスタント経費	1,764	1,568	1,862	2,009	1,078
留学生経費	487	459	473	500	481
収入確保インセンティブ経費	218	168	201	1,269	1,491
部局長裁量経費	9,000	9,000	9,000	6,000	6,000
優れた実績を上げた教員への配分	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
大学入試センター試験実施経費	482	393	367	392	325
学位論文審査協力経費	82	123	60	188	271
教育経費(地域連携,高大連携)	700	700	700	700	600
営繕関係費	0	0	0	0	0
建物改修費	0	0	0	0	0
小 計	28,982	28,028	27,797	26,017	24,978
合 計	186,046	184,390	181,823	180,653	177,706
施設交付金(営繕費)	0	0	0	0	0

III-2 外部資金獲得のための取り組み

理学研究科では2013年度に研究科の外部資金獲得や研究資金の適正使用に関するアドバイスを
 を得やすい環境を整えるため、新たに理学研究科外部資金アドバイザリーボードを設置してい
 る。2023度は、このアドバイザリーボードによるサポートに加え、5月26日に川上勝URA（学
 術研究推進機構学術研究推進室 特命准教授）による講演会「科研費の採択トレンドと競争的資
 金」を開催した。

IV 社会活動

IV-1 ホームページの作成と公開

理学研究科・理学部では、各種の方法でその教育と研究の内容を外部に向けて公開している。2007年度の理学研究科の発足を受けて、2008年度には理学部、大学院理学研究科（前期課程、後期課程）を紹介する42ページのパンフレットを作成した。それとともに、表IV-1に示すように、大学院理学研究科・理学部を構成する5専攻・学科でそれぞれ神戸大学情報基盤センターのWWWサーバー、あるいは独自のWWWサーバーを用いて、ホームページを公開している。

これらのホームページには、教育研究上の目的にはじまり、入学を目指す高校生・学生に対する入試情報や3年次編入学試験あるいは大学院入学試験の案内、学部・大学院内の学生のための情報、それぞれの専攻・学科を構成する各教員の研究内容および業績に至るまで、多くの情報を公開している。特に、学校教育法施行規則第172条に基づく教育情報公開に関連し、2010年度より教員の担当講義ならびに各教員の有する学位についてもホームページで公開している。

表 IV-1：理学研究科・理学部のホームページ

組 織	URL
理学研究科・理学部	www.sci.kobe-u.ac.jp
数学専攻・数学科	www.math.sci.kobe-u.ac.jp
物理学専攻・物理学科	www.phys.sci.kobe-u.ac.jp
化学専攻・化学科	www.chem.sci.kobe-u.ac.jp
生物学専攻・生物学科	www.edu.kobe-u.ac.jp/fsci-biol/
惑星学専攻・惑星学科	www.planet.sci.kobe-u.ac.jp

IV-2 公開講座

理学部では、2000 年度まで学部主催の公開講座を行ってきたが、2001 年度からは開催方法を変更し、また対象を高校生まで拡大して「理学部サイエンスセミナー」として実施している。2010 年度より、開催日を 1 日とし、数学、物理学、化学、生物学、惑星学のそれぞれの分野のトピックスについて講演を行っている。

表 IV-2：理学部サイエンスセミナーの開催状況

年度	テーマ	担当学科	受講者数
2006	サイエンスの今	全学科	第 1 日目：126 名（うち高校生 80 名） 第 2 日目：117 名（うち高校生 74 名）
2007	サイエンスの今	全学科	第 1 日目：128 名（うち高校生 71 名） 第 2 日目：128 名（うち高校生 74 名）
2008	サイエンスの今	全学科	第 1 日目：84 名（うち高校生 32 名） 第 2 日目：123 名（うち高校生 71 名）
2009	60 周年記念特別企画 - 世界天文年およびノーベル賞関連講演 -	全学科	第 1 日目：102 名（うち高校生 53 名） 第 2 日目：87 名（うち高校生 46 名）
2010	最先端の科学をわかりやすく	全学科	80 名（うち高校生 32 名）
2011	科学によって解き明かされる自然現象	全学科	110 名（うち高校生 42 名、中学生 1）
2012	サイエンスの今	全学科	148 名（うち高校生 56 名）
2013	サイエンス最前線	全学科	78 名（うち高校生 24 名）
2014	サイエンス最前線	全学科	91 名（うち高校生 39 名）
2015	サイエンス最前線	全学科	90 名（うち高校生 23 名）
2016	サイエンス最前線	全学科	77 名（うち高校生 21 名）
2017	サイエンス最前線	全学科	120 名（うち高校生 52 名）
2018	サイエンス最前線	全学科	118 名（うち高校生 60 名）
2019	サイエンス最前線	全学科	75 名（うち高校生 31 名）
2020	サイエンス最前線	コロナウイルス感染拡大防止のため不開催	
2021	サイエンス最前線	コロナウイルス感染拡大防止のため不開催	
2022	サイエンス最前線	全学科	対面 61 名（うち高校生 55 名）、WEB 66 名
2023	サイエンス最前線	全学科	162 名（うち高校生 109 名、附属中学 20 名、他中学 2 名）

2023 年度のサイエンスセミナーの実施概要

7 月 29 日（土曜日）来学による対面形式

場所 神戸大学農学部 C 棟 101 室

開講式

10:00-10:10 神戸大学理学部長 挨拶

講演会（サイエンス最前線：講演時間 40 分、質疑応答 10 分）

10:10-11:00 「がん細胞との終わりなき闘い」 生物学科・助教 酒井 恒

11:05-11:55 「金属イオンを含む多機能液体」 化学科・教授 持田 智行

11:55-12:50 （昼休み）

12:50-13:40 「調査結果の統計的な見方」 数学科・教授 青木 敏

13:50-14:40 「火山の地下では何が起きているのか」

惑星学科・教授 金子 克哉

14:45-15:35 「物性物理―「ものづくりの物理」としての側面―」

物理学科・准教授 松岡 英一

閉講式

15:35-15:50 神戸大学理学部長 修了証書授与 挨拶

IV-3 出前授業・模擬授業

理学部では、近隣の高等学校を対象に出張講義「出前授業」を 2000 年度から物理学科で開始し、2001 年度から 2009 年度まで全学科に拡大して実施した。諸事情により 2010 年度から理学研究科としての出前授業は廃止し、模擬授業を実施することとなった。特に、理学研究科紹介を取り入れ、高校生に大学での理学を身近に感じてもらえるよう配慮した。各専攻独自に行う出前授業は従前通り行われている。

2023 開講テーマ：

数学科

谷口 隆	「虚数と素数」
檜垣 充朗	「反復法による解の近似」
山田 泰彦	「遠近法と射影幾何」
青木 敏	「調査結果の統計学的な見方」

物理学科

大久保 晋、藤 秀樹、菅原 仁
「液体窒素を使って極低温の世界で遊んでみよう」

久保木 一浩 「超伝導」
藏重 久弥、山崎 祐司、竹内 康雄、身内 賢太郎、越智 敦彦、前田 順平、鈴木 州
「素粒子と宇宙」

化学科

和田 昭英 「分子の結合と反応」
大西 洋 「物理化学の基礎の基礎」
松原 亮介 「脱炭素社会を正しく知ろう ～「水素を使えばいい」は本当か？～」
秋本 誠志 「光合成生物の光エネルギー利用戦略」

生物学科

佐倉 緑 「昆虫からみた世界」
松花 沙織 「動物の組織・器官を作るメカニズム」
坂山 英俊 「植物の陸上化― 陸上植物の祖先シャジクモ藻類から見えてくるもの」
大沼 亮 「葉緑体ドロボウから紐解く細胞内共生の進化」

惑星学科

吉岡 祥一 「今後西日本で起こりうる地震について」
山本 由弦 「海洋掘削が明らかにする地球のヒミツ」
保井 みなみ 「太陽系に広がる「宇宙」氷の世界」
檜村 博基 「惑星天気予報：金星は今日も曇り、火星は砂嵐でしょう」

表 IV-3：理学部における模擬授業の実施状況概要（2023 年度）

実施日	高等学校名	参加生徒 (人)	引率 教員 (人)	模擬授業のテーマ
9/22(金)	香川県立三本松高等学校	22	2	B4. 葉緑体ドロボウから紐解く細胞内共生の進化 (生物学専攻・大沼亮)
11/7(火)	兵庫県立兵庫高等学校	30	1	B1. 昆虫からみた世界 (生物学専攻・佐倉緑) C3. 脱炭素社会を正しく知ろう (化学専攻・松原亮介)
12/14(木)	兵庫県立篠山鳳鳴高等学校	37	2	M3. 遠近法と射影幾何 (数学専攻・山田泰彦)

IV-4 理学部オープンキャンパス

高校生を対象としたオープンキャンパスは毎年夏休み中の 8 月初旬に開催している。理学部入学生の 2 割程度が高校時代にこのオープンキャンパスに参加しているという実態がアンケート調査により明らかになっている。理学部としては今後もオープンキャンパスをより充実させていきたいと考えている。2023 年度のオープンキャンパスは、4 年ぶりに対面で開催した。学科の施設・設備の見学、説明が受けられるプログラムを提供した。

表IV-4 にオープンキャンパスに参加した高等学校名と参加人数の記録を示す。

表 IV-4：2023 年度理学部オープンキャンパス参加高校と参加者数

(高校コード順)

北海道(7) 函館中部 1 旭川東 1 帯広柏葉 1 釧路湖陵 1 札幌第一 1 クラーク記念国際 2
 青森県(2) 三本木 2
 岩手県(1) 葛巻 1
 宮城県(2) 尚絅学院 1 仙台城南 1
 福島県(1) 福島工業高等専門学校 1
 茨城県(2) 日立第一 1 竹園 1
 栃木県(1) 宇都宮女子 1
 埼玉県(3) 大宮開成 1 栄東 2
 東京都(11) 新宿 1 竹早 1 調布北 1 西 1 広尾学園小石川 1 朋優学院 2
 東京農業大学第一 1 東京都市大学付属 1 國學院大學久我山 1 拓殖大学第一 1
 神奈川県(6) 川和 1 柏陽 1 平塚江南 1 大磯 1 横浜共立学園 1 桐光学園 1
 新潟県(3) 新潟 1 新発田 1 国際情報 1

富山県(8) 魚津 1 富山 1 富山中部 1 高岡 1 砺波 4

石川県(24) 金沢錦丘 1 金沢泉丘 2 金沢二水 18 金沢桜丘 1 北陸学院 1 金沢 1

福井県(10) 藤島 2 高志 2 武生 3 美方 1 金津 2

山梨県(1) 駿台甲府 1

長野県(3) 長野吉田 1 野沢北 1 松本深志 1

岐阜県(4) 岐阜 1 多治見 1 恵那 1 斐太 1

静岡県(7) 三島北 1 富士 1 静岡 1 浜松南 1 浜松湖東 1 静岡雙葉 1 静岡学園 1

愛知県(18) 千種 1 一宮 1 一宮西 1 横須賀 1 刈谷 1 豊橋東 1 菊里 1 向陽 1 西春 1
岡崎西 1 愛知淑徳 2 名古屋 1 南山 3 名城大学附属 1 滝 1

三重県(14) 桑名 4 三重県四日市 1 津 1 松阪 1 上野 3 高田 1 桜丘 1
鈴鹿中等教育学校 1 近畿大学工業高等専門学校 1

滋賀県(11) 膳所 3 石山 2 彦根東 2 守山 2 虎姫 1 高島 1

京都府(62) 山城 3 洛北 5 立嵯峨野 1 嵯峨野 3 桃山 8 福知山 5 峰山 2 西京 2 堀川 5
美術工芸 1 洛西 1 鳥羽 1 南陽 3 大谷 1 京都先端科学大学附属 1 花園 2 東山 3
洛星 2 洛南 1 立命館 1 京都女子 3 京都橘 1 京都共栄学園 2 京都成章 5

大阪府(170) 大阪教育大学附属 3 北野 2 池田 5 豊中 3 箕面 2 春日丘 9 茨木 2 千里 1 三島 3
大手前 9 四條畷 2 寝屋川 2 高津 7 八尾 2 天王寺 10 生野 6 富田林 1
泉陽 5 三国丘 10 鳳 1 和泉 1 岸和田 1 東 1 北千里 1 槻の木 1 水都国際 1
桜和 1 大阪夕陽丘学園 1 開明 2 関西大学北陽 1 初芝立命館 1 明星 2 桃山学院 6
浪速 4 高槻 4 大阪星光学院 2 大阪信愛学院 2 大谷 2 四天王寺 4 城南学園 1
関西大倉 12 近畿大学附属 2 清風 4 早稲田摂陵 1 清風南海 2 金蘭千里 6 清教学園 7
大阪国際 2 追手門学院 2 帝塚山学院泉ヶ丘 1 大阪青凌 2 大阪桐蔭 2 四天王寺東 3

兵庫県(292) 神戸大学附属 2 御影 10 神戸 22 兵庫 12 夢野台 4 長田 30 星陵 9 北須磨 4
神戸甲北 1 舞子 1 青雲 1 県立西宮 2 鳴尾 1 県立芦屋 2 川西緑台 2 篠山鳳鳴 1
明石 1 明石北 8 明石西 1 加古川東 16 加古川西 3 小野 19 西脇 1 姫路東 8
姫路西 7 豊岡 2 八鹿 1 生野 1 洲本 6 津名 1 相生 1 葺合 3 市立西宮 5 西宮東 10
姫路 1 尼崎稲園 4 須磨東 3 加古川北 2 明石城西 3 宝塚北 4 姫路飾西 1 北摂三田 5
立大学附属 3 三田祥雲館 5 神戸鈴蘭台 1 淡路三原 1 甲南 3 甲南女子 1 六甲学院 2
神戸海星女子学院 2 神戸龍谷 3 親和女子 2 滝川 1 須磨学園 11 雲雀丘学園 14
百合学院 2 報徳学園 4 仁川学院 1 夙川 2 白陵 2 賢明女子学院 1 淳心学院 3
東洋大学附属姫路 2 近畿大学付属豊岡 1 近畿大学附属豊岡 1 滝川第二 2 神戸国際 1

奈良県(23) 奈良女子大学附属 3 奈良 3 郡山 3 畝傍 4 青翔 1 帝塚山 5 智辯学園 2 育英西 1
奈良学園登美ヶ丘 1

和歌山県(18) 向陽 6 桐蔭 11 近畿大学附属和歌山 1

鳥取県(8) 鳥取西 5 倉吉東 1 米子北 1 米子松蔭 1

島根県(4) 益田 1 松江東 3

岡山県(18) 岡山芳泉 2 倉敷青陵 4 倉敷天城 2 倉敷南 1 津山 2 総社南 1 岡山城東 4
岡山大安寺中等教育学校 1 鹿島朝日 1

広島県(29) 広島大学附属 1 広島大学附属福山 1 広島観音 1 加計 1 尾道東 1 尾道北 2
福山誠之館 1 三次 3 舟入 4 基町 4 福山 2 広島井口 2 広島中等教育学校 1 崇徳 1
ノートルダム清心 1 AICJ1 広島城北 1 武田 1

山口県(2) 岩国 1 下関中等教育学校 1

徳島県(21) 阿南工業高等専門学校 2 城東 6 城南 2 富岡東 3 脇町 2 徳島市立 2
城ノ内中等教育学校 4

香川県(9) 高松 4 丸亀 小豆島中央 1 高松中央 1 大手前高松 1 香川誠陵 1

愛媛県(11) 川之江 1 新居浜西 3 弓削 1 松山東 2 松山南 1 八幡浜 1 宇和島東 1
済美平成中等教育学校 1

高知県(4) 高知追手前 1 高知国際 1 土佐 1 高知学芸 1

福岡県(12) 筑紫丘 1 城南 1 明善 1 伝習館 1 香住丘 1 九州国際大学付属 1 西南学院 1
福岡女学院 2 福岡工業大学附属城東 2 大牟田 1

佐賀県(2) 武雄 1 致遠館 1

長崎県(1) 青雲 1

熊本県(1) 熊本 1

大分県(1) 大分上野丘 1

宮崎県(2) 都城泉ヶ丘 1 鵬翔 1

沖縄県(3) 開邦 1 那覇国際 2

その他 (既卒, 不明等) 7

〔合 計〕 839 名

IV-5 神戸大学ホームカミングデイ理学部企画

毎年 10 月に開催される神戸大学の全学でのホームカミングデイ行事に合わせて、当日の午後に理学部企画のホームカミングデイ行事を開催している。

2023 年度の神戸大学ホームカミングデイは、10 月 28 日（土）に来学形式で開催した。昨年度に引き続き、プログラムのうち幾つかはオンラインでも参加可能な形で実施した。

2023 年度理学部ホームカミングデイ行事の概要

理学部企画：13:00～17:00 （会場：理学研究科 Y 棟、Z 棟）

（参加人数：学外 56 名、教職員 22 名、学生 33 名）

学部長挨拶

サイエンスフロンティア研究発表会：大学院生によるポスター発表（29 件）

くさの会総会（ハイブリット開催）

講演会：「非常識のすすめー“地球温暖化”から“イオン溶媒和”まで」

講師 大堺利行 理学研究科元准教授（化学専攻）
講演会：「アリ！なんであんたはそうなのか」
講師 尾崎まみこ 神戸大学名誉教授（生物学専攻）
表彰・閉会式
懇親会
《併設企画》パネル展示

IV-6 その他の活動

その他のセミナー依頼など

各高校、教育委員会より依頼のあった理系セミナー、ガイダンスや模擬授業については、広報委員会等で検討の上、必要に応じ個別に対応し、講師を派遣した。

兵庫県立長田高等学校 高大連携講座	2023 年 6 月 23 日 星野 雅和 助教 「海藻分類学の時間」
神戸海星女子学院高等学校 高大連携講座	2023 年 11 月 16 日 竹内 康雄 教授 「地底から探る素粒子と宇宙の謎」